

⑭床下換気	□基礎の断熱を行うので換気口を設置しない。 □外周部の基礎に、有効換気面積300cm²以上の床下換気口を間隔4.0m以内ごとに設ける。 ■ネコ土台による。 ※土台の全周にわたって、1m当たり75cm²以上の換気孔を設ける 構造上支障がないようねこの部分の間隔、アンカーボルトの位置等について十分検討する。 材料は、既製品とし、以下の位置には必ず設ける。 ・各コーナー部分（L、T、+） ・土台継手部分 ・柱の直下 ・アンカーボルト位置 ・特に荷重を受ける部分 ・監理者が、特に指示する部分 □床下換気口には、ねずみ等の侵入を防ぐため、スクリーンなどを取り付ける。
⑮アンカーボルト	■品質は、Zマーク表示品同等以上とし、M12はL=450、埋め込み深さ250mm以上、引き寄せ用はM16、L=800、埋め込み深さ360mm以上とする。 ■コンクリート打設前に所定の位置に仮止めし、位置の確認を確実に行う。さらに必要と判断した場合には、埋設本数を追加する。

O 4 木工事一般事項																																																							
①木材の品質	■素材及び製材の品質は、日本農林規格（JAS）の制定がある場合はこの規格に適合するもの又はこれと同等以上の性能を有するものとする。 ■木材は十分に乾燥したものをを用い構造材に用いる製材の品質は、針葉樹の構造用製材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 ■構造材及び下張材の工事現場搬入時の含水率は 20 %以下とする。 下地材及び造作材の工事現場搬入時の含水率は 15 %以下とする。 ■含水率の測定方法については、木造建築工事標準仕様書による ■造作材に用いる製材の品質は針葉樹の造作用製材のJASに規定する小節以上のものとする。																																																						
②木材の樹種	■木材の樹種は、下表に掲げる部位毎に特記する。 <table><tr><th></th><th>部 位</th><th>特 記</th><th></th><th>部 位</th><th>特 記</th></tr><tr><td rowspan="4">軸</td><td>土台</td><td>米ツガ（防腐処理土台）</td><td rowspan="4">床組</td><td>大引</td><td>米松</td></tr><tr><td>火打土台</td><td></td><td>根太</td><td>米松</td></tr><tr><td>柱</td><td>赤松集成材</td><td>火打ちばり</td><td>米松</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他</td><td>杉</td></tr><tr><td rowspan="4">組</td><td>胴差</td><td>米松</td><td rowspan="4">小屋組</td><td>はり</td><td>米松、RW集成材</td></tr><tr><td>けた</td><td>米松</td><td></td><td></td></tr><tr><td>筋交</td><td>米松</td><td>もや</td><td>米松</td></tr><tr><td>その他</td><td>杉</td><td>たるき</td><td>米松</td></tr><tr><td>造作</td><td>生地表わし</td><td></td><td></td><td>その他</td><td>米松</td></tr><tr><td></td><td>表面塗装</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		部 位	特 記		部 位	特 記	軸	土台	米ツガ（防腐処理土台）	床組	大引	米松	火打土台		根太	米松	柱	赤松集成材	火打ちばり	米松			その他	杉	組	胴差	米松	小屋組	はり	米松、RW集成材	けた	米松			筋交	米松	もや	米松	その他	杉	たるき	米松	造作	生地表わし			その他	米松		表面塗装				
	部 位	特 記		部 位	特 記																																																		
軸	土台	米ツガ（防腐処理土台）	床組	大引	米松																																																		
	火打土台			根太	米松																																																		
	柱	赤松集成材		火打ちばり	米松																																																		
				その他	杉																																																		
組	胴差	米松	小屋組	はり	米松、RW集成材																																																		
	けた	米松																																																					
	筋交	米松		もや	米松																																																		
	その他	杉		たるき	米松																																																		
造作	生地表わし			その他	米松																																																		
	表面塗装																																																						
③集成材、単板積層材	■集成材及び単板積層材の品質はJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものを使用する。また、内装仕上げ材に用いるものについてはF☆☆☆☆品を使用する。																																																						
④各種ボード類	■合板及び各種ボード類の品質はJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものを使用する。又、内装仕上げ材に用いるものについては、F☆☆☆☆品を使用する。																																																						
⑤釘	■構造上重要な部分に用いる釘の品質は、JISA5508（くぎ）に規定する釘の種類のうち、鉄丸くぎ、石膏ボード用くぎ又はシージングインシュレーションファイバーボード用くぎに適合するもの又はこれと同等以上の性能を有するものとする。ただし、特殊な部位に用いる釘についてはこの限りではない。 ■長さの表示のない場合の釘の長さは、打ち付ける板厚の2.5倍以上を標準とする。 ■造作材の化粧面の釘打ちは、使用箇所及び工事の過程に応じて、隠し釘、釘頭に埋め木、釘頭つぶし、釘頭あらし等とする。																																																						
⑥諸金物	■諸金物（接合金物）は、品質及び性能が明示された良質なもののみを使用する。																																																						
⑦指定寸法	■木材の断片を表示する指定寸法はひきたて寸法とする。ただし、造作材の場合で寸法線が記入されているものは、仕上がり寸法とする。																																																						

⑧仕上げその他	□構造材に丸太を使用する場合は、すべて皮はぎ材とする。 □見えがかりは、すべてカンナ削り仕上げとする。 ■土台、けたなどで継ぎ伸しの都合上、やむを得ず、短材を使用する場合の長さは、土台にあっては1m内外、その他にあっては2m内外とする。 ■工事中に汚染や損傷などの恐れのある場合は、とのご塗、紙張り、板あて及びその他適当な方法により養生する。 ■土台の防腐・防蟻措置は、次のいずれかによる。 □ひのき、ひば、べいひのき、べいひば、くり、けやき、べいすぎ、台湾ひのき、こうやまき、さわら、ねずこ、いちい、かや又はウエスタンレッドシーダーを用いた製材、若しくはこれらの樹種を使用した構造用集成材を用いる。 ■JASIに定める保存処理性能区分K3相当以上の防腐・防蟻処理材を用いる。 ■土台に接する外壁の下端には水切りを設ける。
⑨養生	
⑩土台の防腐、防蟻措置	■防腐・防蟻薬剤を用いて工場で処理した防腐・防蟻処理材を用いる場合次による。 ■製材のJASの保存処理（K1を除く）の規格に適合するものとする。 ■JISA9108（土台用加圧式防腐処理木材）の規格に適合するものとする。 ■JISK1570に定める加圧注入用木材防腐剤を用いてJISA9002による加圧式防腐処理剤を行った木材とする。 ■上記以外とする場合は、防腐・防蟻に有効な薬剤が、塗布、加圧注入、浸漬、吹き付けられたもの又は接着剤に混入された防腐・防蟻処理材で、特記による。（ただし、集成材においては接着剤に混入されたものを除く） ■薬剤による現場処理を行う場合の防腐・防蟻薬剤の品質は、次による。 ■木部の防腐措置及び防蟻措置に使用する薬剤の品質は、（社）日本しろあり対策協会（以下「しろあり協会」という。）又は木材保存協会認定の防腐・防蟻剤とする。 ■薬剤による現場処理を行う場合の木材の処理方法は、次による。 ■塗布、吹付け、浸漬に使用する薬剤の量は、木材及び合板の表面積1㎡につき300mlを標準とする。 ■処理むらが生じることのないよう上記の薬剤の範囲内で2回処理以上とする。 ■木材の木口、仕口、継手の接合箇所、亀裂部分、コンクリート及び東石などに接する部分は、特に入念な処理を行う。
⑪薬剤の品質等	

O 5 木造躯体工事	
※断面寸法について	■各部材の断面寸法については、指示なき場合は構造図による。 ■土台の断面寸法は、120 mm× 120 mmとする。 ■継手は柱及び床下換気孔の位置を避け腰掛けあり継ぎ又は腰掛けかま継ぎとする。
①土台	

2. 火打土台	■火打土台は次のいずれかによる。 ■木材の火打土台とする場合は、断面寸法は特記がなければ、45mm×90mm以上とする。 ■鋼製火打の使用可
③大引	
4. 床づか	□断面寸法は、特記がなければ90mm×90mmとする □上部仕口は、次のいずれかによる。 □大引に突付けとしN75釘を斜め打ちのうえ、ひら金物を当て釘打ち又はかすがい打ちとする。 □大引へ一部びんた延ばしとし、N65釘2本を斜め打ちする。 □大引に目違いほぞ差しとし、N75釘2本斜め打ちする。 □下部は、つか石に突付けとし、根がらみを床づかに添えつけ釘打ちとする。
⑤根太	■継手は、受材心で突付け継ぎとし、N90釘を平打ちする。 ■はり又は大引きとの取合いは置渡しとし、N75釘2本斜め打ちとする。ただし根太のせいが90mm以上の場合は、大入れ又は渡りあご掛けとしN75釘2本打ちとする。 ■床組に根太を用いない場合の工法は特記による。
6. 2階床ばり	□継手は、次のいずれかによる。 □受材上で大材を下にして台持ち継ぎとし、六角ボルト2本締めとする。 □上木先端部が受材より150mm内外持ち出し、追掛け大ぜん継ぎとする。 □はりせいが120mm程度のものは大材を受材心より150mm内外持ち出し上端を揃え腰掛けかま継ぎ又は腰掛けあり継ぎとし短ざく金物両面当て、六角ボルト締めとする。 □仕口は、次のいずれかによる。 □柱との取合いは、かたぎ大入れ短ほぞ差しとし、羽子板ボルト締めとする。 □T字取合いは大入れあり掛けとし、羽子板ボルト締めとする。 □受材が横架材の場合は、受材との取合いは、渡りあご掛けとする。
⑦火打ちばり	■火打ちばりは次のいずれかによる。 □木製の火打梁とする場合は次による □断面寸法は、特記がなければ90mm×90mm以上の断面寸法とする。はり・胴差けた等との仕口はかたぎ大入れとし、六角ボルト締めとする。ただし、はり・胴差けた等の上端又は下端に取り付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし、いずれも六角ボルト締めとする。 ■鋼製火打ちとする場合は、特記による。
⑧柱	■柱の断面寸法は次による。 ■管柱の断面寸法は、 120 mm× 120 mmとする。 ■通し柱の断面寸法は、120 mm× 120 mmとする。 ■すみ柱（出すみ、入すみ）の断面寸法は、 120 mm× 120 mmとする。
⑨間柱	■横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突きつけとし下部はN75釘を斜め打ち、又は上・下部とも大入れとし、釘N75を斜め打ちとする。 ■筋かい当たりは、間柱を切り欠き、N75釘2本を平打ちする。 ■通しぬき当たりは、添え付けてN65釘2本を平打ちする。
⑩胴差	■継手は、はり及びすじかいを受ける間柱を避けて柱より持出し追掛け大せん継ぎ又は腰掛けかま継ぎとする。 □通し柱との仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差しとし、金物の補強は次のいずれかによる。 □短ざく金物当て六角ボルト締め、スクリュー釘打ちとする。 □かね折り金物当て六角ボルト締め、スクリュー釘打ちとする。 □羽子板ボルト締めとする。

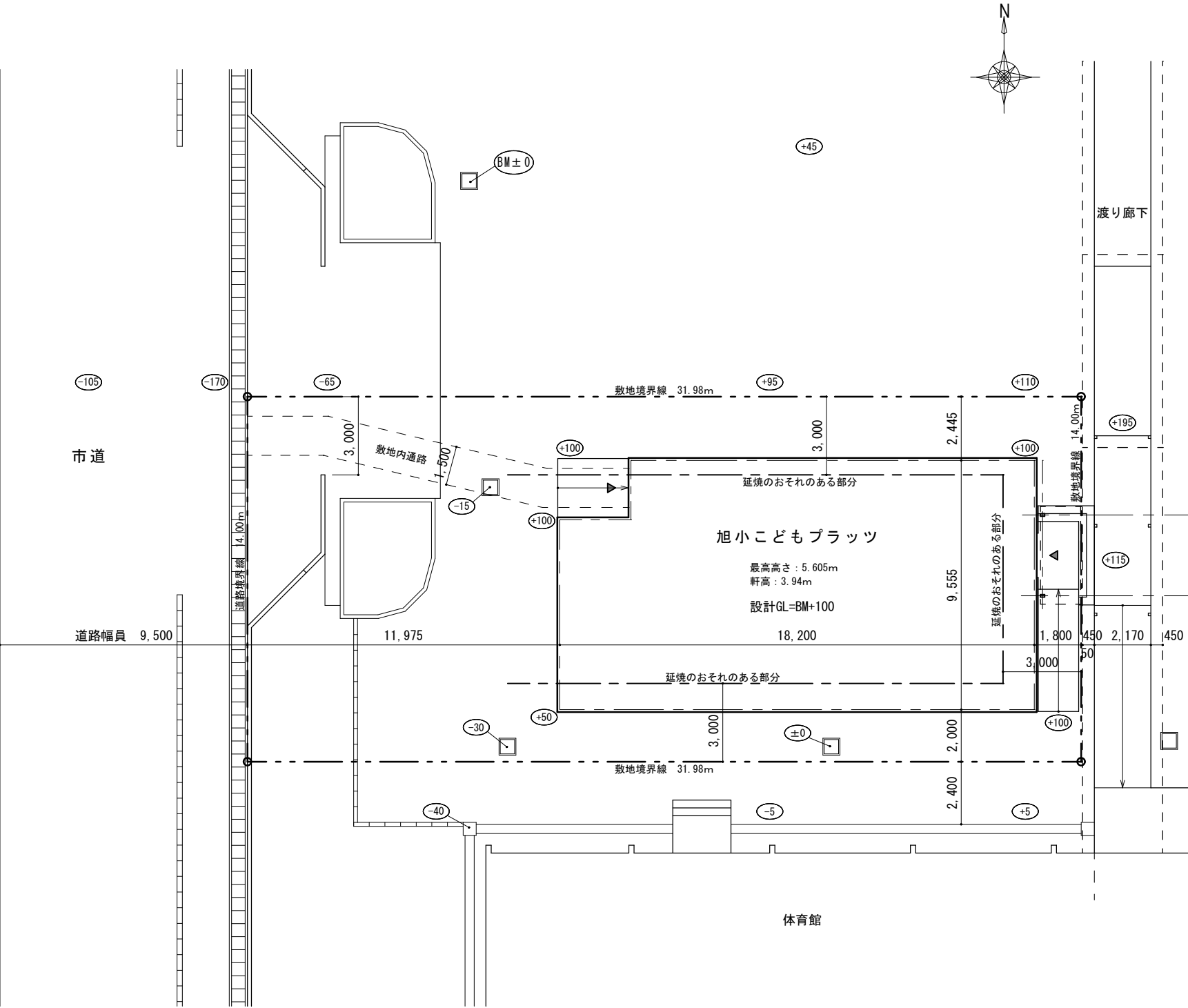
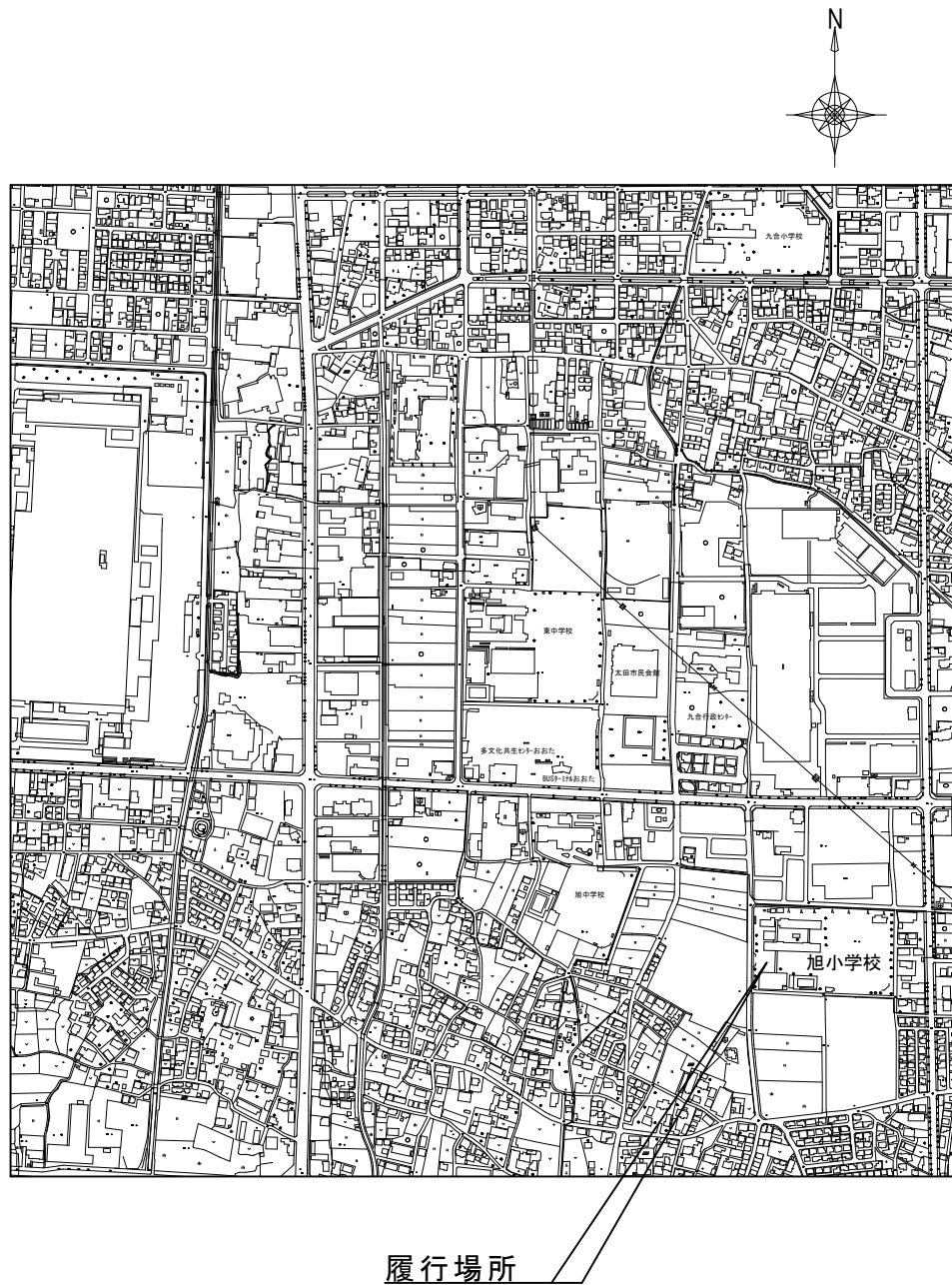
太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	特記仕様書2			A－02

⑪軒げた ⑫間仕切げた （頭つなぎ） ⑬筋かい 14. 木ずり ⑮筋かい端部の 仕口 ⑯耐力壁となる 軸組の柱と 横架材の仕口 ⑰耐力壁でない 軸組の柱と 横架材の仕口 ⑱小屋ばり ⑲小屋束 ⑳むな木・もや	■継手は、はりを受ける柱間を避けて柱より持出し追掛け大せん継ぎ、腰掛けかま 継ぎ又は腰掛けあり継ぎとする。 ■継手は、梁を受ける柱間を避け、柱より持出して腰掛けかま継ぎ又は腰掛けあり 継ぎとする。 ■主要な間仕切げたとけた又は胴差とのT字取合部の仕口は、大入れあり掛けとし、 羽子板ボルト締めとする。 ■断面寸法は特記がなければ45mm×90mmとする。 ■見付け平使いとし、上下端部の仕口は建築基準法に基づく告示による。 ■筋かいが間柱と取り合う部分は間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。 □断面寸法は、12mm×75mm以上とする。 □継手は、柱・間柱心で突付け、5枚以下毎に乱継ぎとする。 □柱・間柱等への留付けは、板そば20mm程度に目透かし張りとし、それぞれN50釘 2本を平打ちする。 ■筋かいの端部における仕口は、筋かいの種類に応じて、次の接合方法によるか 又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法による。 □厚さ30mm以上で幅90mm以上の木材による筋かいの場合 筋かいプレート（厚さ1.6mmの鋼板添え板）を筋かいに対して六角ボルト（M12） （JISB1180（六角ボルト）に規定するうち強度区分4.6に適合する径12mmのボルト 又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）締め及びCN65釘 （長さ65mmの太め鉄丸くぎ。以下同じ。）を3本平打ち、柱に対してCN65釘を 3本平打ち横架材に対してCN65釘を4本平打ちとしたもの。 ■厚さ45mm以上で幅90mm以上の木材による筋かいの場合 筋かいプレート（厚さ2.3mmの鋼板添え板）を、筋かいに対して六角ボルト（M12） 締め及び長さ50mm径4.5mmのスクリューくぎ（以下「スクリュー釘」という。） 7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれスクリュー釘5本の平打ちとしたもの。 □厚さ90mm以上で幅90mm以上の木材による筋かいの場合、別途指示する。 ■軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口は、平12建告第1460号による。 ■柱の端部と横架材との仕口（隅柱と土台の仕口は除く。）は次のいずれかによる。 ■柱の上下端とも短ほぞ差しとし、山形プレートを当て釘打ちとする。 ■柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かど金物を当て釘打ちとする。 ■柱の上下端とも長ほぞ差しとし、込みせん打ちとする。 ■柱の上下端とも短ほぞ差しとし、ひら金物を当て釘打ちとする。 ■柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かすがい打ちとする。 ■すみ柱と土台との仕口は次のいずれかによる。 ■扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かど金物を当て釘打ちとする。 ■扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かすがい打ちとする。 ■長ほぞ差しとし、込みせん打ちとする。 ■扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、ホールダウン金物を用いて緊結する。 ■土台木口と隅柱との取り合いを落しありとする場合は、かど金物を両面に当て 釘打ちとする。 ■上記の同等以上の緊結が保たれる方法で監理者と協議する。 □末口135mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下水にだぼ2本を植込み、 かすがい両面打ちとするか又は六角ボルト2本締めとする。受材当たりは渡り あごとし、手ちがいかすがい打ちとする。 □末口135mm以上の丸太の継手は、受材上でやりちがいとし、六角ボルト2本締めと する。受材当たりは渡りあごとし、手ちがいかすがい打ちとする。 ■軒桁又は敷桁との仕口は、かぶとあり掛け又は渡りあごとし、いずれも羽子板 ボルト締めとする。 ■上部・下部の仕口は短ほぞ差しとし、かすがい両面打ち又はひら金物当て釘打ちとする。 ■継手は、束の位置を避け、束より持出して、腰掛けかま継ぎ又は腰掛けあり継 ぎとし、N75釘2本打ちとする。 ■T字部の仕口は、大入れあり掛けとし、上端よりかすがい打ちとする。	㉑たる木 22. 挽板野地板 ㉒合板野地板 24. パーティクル ボード ㉕鼻かくし ㉖破風板	■継手は、乱に配置し、もや上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。 ■軒先部以外の留めつけは、受け材当たりN75釘で両面を斜め打ちとする。ただし、 たる木のせいが45mm程度の場合は、N100釘を臨天打ちとする事ができる。 ■軒先部の留めつけは、桁へひねり金物、折曲げ金物又はくら金物を当て、釘打ち とする。 □かわら棒ぶき屋根の場合のたる木間隔は、かわら棒の留めつけ幅と同一とする。 □継手は、板の登り約10枚以下毎に乱継ぎとし、継手はたる木心で突付けとする。 □取付けは、たる木に添え付け、たる木当たりN38釘2本を平打ちとする。なお、 板そばは、見えがくれの場合は添え付け、見えがかりの場合はすべり刃又は相 じやくりとする。 ■合板の品質は、構造用合板のJASに適合するもので接着の程度1類、厚さ9mm以上 のもの、又はこれと同等以上の性能を有するものとする。 ■取付けは、間隔150mm内外に受材当たりN38釘を平打ちする。 ■パーティクルボードの品質は、JISA5908（パーティクルボード）に適合するもので、 種類は13P又は13M以上とし、厚さ12mm以上とする。 □取付けは、間隔150mm内外に、受材当たりN50釘を平打ちとし継目部分は 2～3mmの隙間をあげる。なお軒及び妻側の部分に使用する広こまい、のぼりよど、 破風板等には木材を使用する。 ■継手の位置は、たる木心とし次のいずれかにより、たる木当りに釘打ちとする。 ■突付け継ぎ又はそぎ継ぎとする。 ■厚木の場合は、隠し目違い入れとする。 ■破風板との取り合いは、突付け釘打ちとする。 ■継手の位置は、もや心とし次のいずれかにより、むな木、もや及びけた当りに 釘打ちとする。 ■そぎ継ぎ又は突付け継ぎとする。 ■厚木の場合は、隠し目違い入れとする。	4. 一文字ぶき 5. 段ぶき 6. 粘土瓦葺き 7. 厚形スレート ぶき 8. 屋根用化粧 スレートぶき 9. アスファルト 防水 10. シート防水 11. 塗布、塗膜防水 12. 防水モルタル ⑬責任保証 ⑭シーリング材	□屋根一般部分は次による。 □ふき板の四周は重はぜとする。下はぜは18mm、上はぜは15mm程度とする。 □つり子は、ふき板と同じ材で、幅30mm長さ70mmとする。 □つり子は、野地板に釘留めとする。取付け箇所は、ふき板1枚につき2箇所以上 とする。 □隣り合ったふき板は、一重はぜ継手とし、千鳥に設ける。 □段ぶき（横ぶき）の工法は、各製造所の仕様による。 □粘土がわらの品質は、JISA5208（粘土がわら）に適合するもの又は同等以上 の性能を有するものを使用する。 □釘は、銅・ステンレス・真鍮・長さ45～65mm径2.4mm内外とする。緊結線は、 銅・ステンレス、径0.9mm以上とする。 □和型厚形スレートの工法は、粘土がわらぶきと同様にする。 □その他の厚形スレートの工法は以下による。なお、下記に定めのない事項は粘土 がわらぶきの項による。 □平型厚形スレートは、すべて釘2本以上で留め付け、むね峠までふき詰める。 □谷縁スレートは、1枚ごとに釘及び緊結線2条ずつで留めつける。 □厚形スレートの品質は、JISA5402（厚形スレート）に適合するもの、又はこれと 同等以上の性能を有するものを使用する。 □釘は、銅・ステンレス・真鍮、長さ45～65mm径2.4mm内外とする。緊結線は、 銅・ステンレス、径0.9mm以上とする。 □その他の厚形スレートの工法は下記による。なお、下記に定めのない事項は粘土 がわらぶきの項による。 □平型厚形スレートは、すべて釘2本以上で留め付け、むね峠までふき詰める。 □谷縁スレートは、1枚ごとに釘及び緊結線2条ずつで留めつける。 □屋根用化粧スレートの品質は、JISA5423（住宅屋根用化粧スレート）に適合する もの、又はこれと同等以上の性能を有するものとする。 □屋根用化粧スレートによる屋根一般部分は、次による。 □ふき足及び重ねの長さは、JISA5423の規定による。 □ふき板は、1枚ごとに所定の位置に専用釘で野地板に留めつける。 □歩行用□非歩行用 □加硫ゴム系シート防水厚2.0mm（脱気工法、軽歩行露出工法） □合成樹脂系シート防水厚1.5mm（脱気工法、軽歩行露出工法） □その他（） □ウレタン塗布防水厚mm □ゴムアスファルト塗布防水厚mm □その他（）厚mm □セメント系□樹脂系□その他（） ■工事請負者及び工事施工会社は記名捺印の上、下記保証機関の保証書を2部 監理者へ提出するものとし保証期間内に事故が生じた場合は、無償にて補修復旧 を行うこととする。 □屋根用化粧スレート材10年間□FRP防水10年間 □アスファルト防水10年間□防水モルタル5年間 □シート防水10年間■その他（金属板ぶき）10年間 □塗布、塗膜防水5年間 ■外部建具廻り□コンクリート打継ぎ目地□ポリサルファイド系□ポリサルファイド系 ■変成シリコン系□変成シリコン系 □ウレタン系□シリコン系 □その他（）□その他（） ■シーリング材の充填は、9mm×9mm□シーリング材の充填は、9mm×9mm を最小とし3面接着とする を最小としボンドブレーカー又は バックアップ材を使用する。		
太田市建築住宅課		履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
		旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	特記仕様書3			A－03

⑮硬質塩化ビニル雨樋 16. 金属板雨樋 ⑰雨水の処理	■軒樋の工法は、次による。 ■軒樋は、専用の継手を用い接着剤を併用して接合する。接合した軒樋の長さは10m以内とし、10mを超える場合は、有効な伸縮継手を設ける。 ■軒樋の受金物は、軒樋に合った形状寸法のを間隔700mm程度に、たる木又は鼻かくしに取りつける。受金物の鉄部は溶融亜鉛めっきを行う。 ■軒樋の取付けの勾配は1/200以上とする。 ■軒樋は、伸縮を妨げない程度に受金物に緊結する。 ■堅樋の工法は、次による。 ■堅樋の受金物は堅樋に合った形状寸法のを間隔1000mm以下に取りつける。受金物は、ステンレス製又は鉄部に溶融亜鉛めっきを行ったものとする。 ■堅樋には、各受金物ごとに、樋と同質材で下がり止めを接着剤で取りつける。 □軒樋及び縦樋の工法は、共通仕様書による。 ■堅樋の下部は、排水管に直結するか又は、コンクリート製の樋受けを据えつける。この場合、堅樋周囲から塵芥や土砂が入らないようにする。
0 7 断熱工事	
①断熱構造とする部分と性能 ②断熱性能を確保するための事項 ③窓、ドアなどの断熱性	■各部熱貫流率又は、断熱材の種類と厚さ □屋根（ ：mm） ■天井（高性能グラスウール 14K ：155 mm） ■壁（高性能グラスウール 10K ：100 mm） ■床（外気に接する部分）→ 1Fの床部分 （古紙混入発泡ポリプロピレン断熱材 ：80 mm） ■床（その他の部分）→ 1Fの床部分 （根太フォーム洋室用LDK455同等 ：50 mm） □土間床等の外周部（外気に接する部分）→ （ ：mm） □土間床等の外周部（その他の部分）→ （ ：mm） ■断熱材の施工方法 ■充填断熱工法 □外貼り断熱工法 □基礎断熱 ■外壁の上下端部と天井又は床との取合部の措置 （断熱材充填 ） □間仕切壁と天井又は床との取合部の措置 （ ） □天井又は屋根の埋込型照明器具の措置 （ ） ■材料 ■アルミサッシ □樹脂サッシ □アルミ・樹脂複合サッシ □木製サッシ □アルミ・木複合サッシ ■使用ガラス ■複層ガラス（ ） □熱線反射ガラス □その他（ ） ■詳細については、設計図による。
0 8 造作工事	
①床板貼り ②敷居、かまい、その他	■挽板の厚さは、12 mm以上とする。 □フローリングを根太に直接貼る場合は、釘、接着剤を併用し、根太に直角に貼る。 □モザイクパーケット及びフローリングブロックについては下地をよく清掃した後エポキシ樹脂系の又は酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形の接着剤を下地全面に均等に塗布し、入念に貼る。 ■貼り上げたのちは、厚手の紙などを用いて汚れや損傷を防ぎ、雨などかからないように入念に養生する。 ■敷居と柱との接合は、一方は横ほぞ差し又は目違い入れとし、他方は横せん打ちとする。
③内外壁下地	
④外壁内通気措置	
5. 外壁板貼り	
⑥サイディング貼り	
7. A L C板貼り	
8. 塗装溶融亜鉛めっき鋼板貼り	
⑨内壁合板貼り	
⑩石膏ボード貼り、その他のボード貼	
⑪天井下地	
■かまいの柱への取付は、一方は横ほぞ差し、他方はすりこみとし上端より釘2本打ちとする。 ■額縁は、枠に添え付け、隅の見付は大留めとし、両端及び間隔450mm内外に隠し釘打ちとする。 ■継手は、柱心で目違い継ぎ又は突き付け継ぎとし、出隅及び入隅は大留めとする。 □巾木の取付は、床に小穴入れ又は添え付けとし、隠し釘打ちとする。 ■胴縁を留め付ける間隔は、500mm以内として受け材に釘で留め付ける。 ■外壁内に通気層を設け、壁体内通気を可能とする構造とする。 ■防風材は、JISA6111（透湿防水シート）に適合する透湿防水シートなど気密性と防水材及び湿気を放散するのに十分な透湿性を有する材料とする。 □通気層の構造は、土台水切り部から天井裏を経由して小屋裏換気孔に通気できる構造。 □たて羽目貼り □板そばは、本実ジャグリ、幅割り合わせとする。継手は、受材心で相欠き、乱継ぎとする。 □取付は、受材当たりに通りよく、つぶし頭釘打ち又はしんちゅう釘打ちとする。 □よろい下見板貼り □板幅をそろえ、羽重ねは、20mm内外とする。 □継手は、受材心で相欠き、乱継ぎとする。取付は、受材当たりに通気よく。つぶし頭釘又は、しんちゅう釘打ちとする。 ■ジョイナー、防水テープ等は、各製造所の指定する材料を使用する。 ■サイディングと土台水切りなどの取合は、10mm程度の隙間をあける。 ■開口部廻りの防水処理は、防水テープなどにより補強する。 ■施工にあたってはメーカー標準の施工マニュアルによる事とする。	
□厚さ 50mm □厚さ 38mm □目地コーキング材 □ポリサルファイド系 □ウレタン系 □変成シリコン □その他（	
□塗装溶融亜鉛めっき鋼板の品質は、JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に適合するもの又は同等以上の性能を有するもので建築用外板用とする。 □塗装溶融亜鉛めっき鋼板のたて形下見板のたて方向は90mm以上重ねる。横方向は、重ね合わせ又はこはぜ合わせとする。重ね合わせの場合の重ね幅は、1山以上とする。 □留め付けは、間隔300mm内外で胴縁に亜鉛めっき釘（亜鉛めっきをしたカラー釘を含む。）打ちとする。 ■合板の品質は、普通合板、難燃合板、特殊合板（天然木化粧合板、特殊加工化粧合板）構造用合板又は構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 ■水がかり箇所又はこれに準ずる箇所に使用する合板の種類は、Ⅰ類とする。 ■普通合板を使用する場合、合板の表面の品質は、1等とする。 ■石膏ボードの品質は、JISA6901（石膏ボード製品）の規格品又は、同等以上の性能を有するものを使用する。 ■防火材料面の不陸直しに使用するパテは、無機質のものとする。 ■野縁受けの間隔は、900mm内外とし野縁又はさお縁と交差する箇所で釘打ちする。 ■野縁は、30mm×40mm @303mmを標準とする。 ■吊り木及び吊り木受けの間隔は、900mm内外に配置する。	
0 9 左官工事	
①一般事項	
■下地は、塗り付け直前によく清掃する。 ■コンクリート、コンクリートブロックなどの下地は、あらかじめ適度の水湿しを行なう。 ■気温が2℃以下の場合及びモルタルが適度に硬化しないうちに2℃以下になる恐れのある場合は作業を中止する。やむを得ず作業を行なう場合は、板囲い、シート覆いなどを行なうほか、必要に応じて採暖する。さらに、監理者の指示に従う。	
2. モルタル下地ラス工法	
3. モルタル塗り	
4. せっこうプラスチック塗り	
5. 繊維壁塗り	
6. しっくい塗り	
7. 土壁塗り	
□防水紙は、アスファルトフェルト430以上とする。 □防水紙は、継目を縦、横とも90mm以上重ね合わせる。留め付けはタッカーなどを用いて継目部分は約300mm間隔に、その他の箇所は要所に行い、たるみ、しわのないように貼る。 ■下塗り及び中塗りは、それぞれ2週間以上放置して次の塗付にかかる。 □防水モルタルは、材料を正確に計量して、塗り厚は、20mmを限度とする。 □製造後4ヶ月以上経過したものは使用しない。 □材料は、水に濡らさないように保管し製造後2年以上経過したものは使用しない。 □こて塗り又は吹付けいずれの場合も、下地が見えない程度の塗り厚に仕上げる。 □すさの長さは、150mm内外に切ったものを標準とする。 □塗り厚さは、壁は15mm、天井は12mmを標準とする。 □木舞竹は、篠竹又は真竹でいずれも割竹とする。 □下塗りは、木舞下地に十分すり込んだのち塗り付け裏返し塗りをする。下塗りが、十分乾燥したのちむら直しをする。 □中塗りは、むら直しが十分乾燥したのち、むらなく塗付、平滑にこて押えする。	
1 0 内外装工事	
1. 石貼り	
②タイル貼り	
3. たたみ敷き	
4. カーペット敷き	
5. ビニル床タイル貼り	
⑥ビニル床シート貼り	
⑦壁紙(クロス)貼り	
8. 仕上塗り材仕上げ	
□石材は、傷、又は亀裂を生ずる恐れのある筋や欠点の少ないものとし色、仕上面については、見本品を提出して監理者の承諾を得る。 □つなぎ金物などは、銅又はしんちゅう製とする。 ■使用するタイルの形状、寸法、色あい、裏型などはあらかじめ見本品を提出して、建築主及び管理者の承諾を得る。 □やむを得ず寒冷期に作業を行なう場合は、板囲い、シート覆いなどを行なうほか必要に応じて採暖する。 □入隅部又は、設計図にて指示ある部分には、伸縮目地(コーキング材)を使用する。 □種類 □本畳 □ビニール畳 □建材畳 (KT-) □畳縁 □縁あり □縁無し □たたみの敷込は、敷居や畳寄せ部などで段違い、すきまが生じないよう、また、不陸などがないように行なう。 □使用する材料は、風合い、色合いなどは、見本品を提出して監理者の承認を得る。 □特に指示のない場合は、下敷き材を使用する。 下敷き材（フェルト）厚さ t＝7mm □敷込は、グリッパー工法又は、全面接着工法とし、特に指示のない場合は、グリッパー工法とする。 □貼り付け後、接着剤が硬化したことを確認した後に全面を水ぶきなどで清掃したうえ、乾燥後は、樹脂ワックス又は、水性ワックスを用いてつや出しを行なう。 ■仮敷は、必要に応じて行なうものとするが施工にあたっては、割付良く切断して、巻きぐせがとれ、十分伸縮するまで敷き並べる。 ■接着剤及びシーラーの品質、種類は、壁紙の製造所の指定するものとして、原則として「F☆☆☆☆品」を使用する。 □仕上塗材の品質は、JISA6909（建築用仕上塗材）に適合するもの又はこれと同等以上の性能を有するものとして監理者が認めたものを使用する。 □外部の仕上げ塗りは、降雨の恐れのある場合又は強風時には原則として、仕上げを行なってはならない。 □仕上後、仕上面に変色、色むらなどが生じた場合はその面の仕上げ直しを行なう。	

太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	特記仕様書 4			A－04

1 1 建具工事						③カーテンレール		■材質 ☐ ステンレス製 ☒ アルミ製 ☐ 木製 ☐ その他()					
①外部建具		■サッシは、JISA4706（サッシ）に適合するもの又は同等以上の品質と性能を有するものと監理者が認めたものを使用する。 ■ドアは、JISA4702（ドアセット）に適合するもの又は同等以上の品質と性能を有するものと監理者が認めたものを使用する。 ☐ 金属性雨戸は、JISA4713（住宅用金属製雨戸）に適合するもの又は同等以上の品質と性能を有するものと監理者が認めたものを使用する。 ☐ 防火戸は、建築基準法に基づき指定を受けたものとする。 ■網戸は、特に指示のない場合は、外面納まり全可動式とし網は合成樹脂製とする。				4.ブラインド		☐ 形式 ☐ ベネシアン型（スラット幅 mm） ☐ バーチカル型（スラット幅 mm）					
②内部建具		■建具に使用する木材の品質は、十分乾燥した心去り材とし割れ、歪みなどの欠点のないものとする。 ■水がかかり部分に使用する建具の接着剤は耐水性、耐候性に効果のあるものを使用する。 ■内装ドアユニットなどの組立及び取付については、各製造所の仕様による。				5.ロールスクリーン		☐ 形式 ☐ ブルコード式 ☐ ブルコード式（リミットストッパー付き） ☐ チェーン式 ☐ ワンタッチ式 ☐ ループコード式 ☐ 電動式					
③建具金物		■建具金物は、形状、寸法が正しく機構が円滑で表面にきず等の欠点のないものとする。 ■マスターキー ☐ 必要 ☒ 不要 ■各キーは、室名札をつけて引き渡し時にまとめて提出する。				⑥点検口		■天井点検口（450mm×450mm） ☒ アルミ製 ☐ その他() ■床下点検口（450mm×450mm） ☒ アルミ製 ☐ その他() ■取付位置は、図示による。施工上の都合により取付位置を変更する場合は監理者の承認を得る。					
1 2 塗装工事						7.旗竿金物		☐ 材質 ☐ ステンレス製 ☐ アルミ製 ☐ スチール製 ☐ その他() ☐ 別途工事					
①一般事項		■塗装の品質は、すべてJISに適合したもの又はこれと同等以上の性能を有するものとし、監理者が認めたものを使用する。 ■内部に使用する塗料は、原則としてF☆☆☆☆を使用する。 ■あらかじめ塗り見本を提出して、監理者の承認を受けるとともに、必要に応じて施工面に見本塗りを行なう。 ■工事中は、塗装面ならびに塗装面以外の部分に汚染や損傷を与えないように十分注意し、必要に応じて適正な養生を行なう。				8.キッチンセット		■別図による。（本工事） ☐ 別途工事					
2.合成樹脂調合ペイント塗		☐ 合成樹脂調合ペイントの塗装は、JISK5516に適合するもの又は、同等以上の性能を有するものと監理者が認めたものを使用する。				9.浴室ユニット、浴槽		☐ 別図による。（本工事） ☐ 別途工事					
③合成樹脂エマルションペイント		■合成樹脂調合エマルションペイントの塗装は、JISK5663に適合するもの又は、同等以上の性能を有するものと監理者が認めたものを使用する。				1 7 室内化学物質濃度測定について							
						①測定箇所		■測定は2室とし、室の特定については、監督員の指示による。					
						②測定物質		■測定箇所において、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンの濃度を測定すること。					
						③測定方法		■測定は、平成21年国土交通省告示第354号に基づく評価方法基準の「6-3（3） ☐ 」に定められた方法によること。					
1 3 給排水衛生設備工事						1 8 提出図書について							
①一般事項		■国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」、その他関係法令に基づき施工する。 また、設計図書に記載がなくとも設備機能上、外観上、構造上当然必要と認められたものは監督員の指示に従い請負金額において施工する。また、軽微な変更についても同様とする。 工事施工前、完了後には、事前調査、試験等を実施し、関連設備に支障のないようにする。				①提出図書		■本工事の施工に伴う提出図書は、下記「■」に定める他、監理者の指示より作成するものとする。 なお、提出書類で●のあるものは、市書式の「工事打合せ書」を表紙とする。					
②官庁手続き		■本工事に必要な官公庁機関等への手続きは請負者が行い、その費用は請負者の負担とする。				提出図書		部数	時期	備考			
③使用材料		■使用する機材については、製品仕様書等を提出し監督員の承認を受けてから使用するものとする。				●実施工程表		2	着工前				
						●施工計画書		2	着工前	仮設計画図含む			
						作業員名簿		2	着工前				
						各種工事保険等の加入証写し		1	着工前				
						工事実績情報（工事カルテ）写し		1	契約後10日以内				
						●使用材料承認願		2	着工前	ホルムアルデヒド [*] 発散材料については等級が分かる証明書・資料も添付			
						施工図提出に関する覚書		2	着工前				
						●施工図		2	着工前	必要に応じて			
						測量機器類の校正証明書		1	着工前				
						月例安全研修報告書		1	毎月	研修状況写真添付			
						●協議事項議事録		2	適時				
						●質疑応答書		2	適時	質疑があった場合			
						●使用材料メーカーリスト		2	完成時				
						各材料出荷証明書		1	完成時	必要に応じて品質証明書共			
						各種試験成績表		1	完成時	必要に応じて			
						各種保証書		1	完成時	屋根・機器類等			
						工事記録写真真帳		1	完成時	各部位ごとに整理			
						産業廃棄物処理関係書類		1	完成時				
						再生資源利用（促進）実施書		1	完成時				
						完成届		1	完成時	労災保険加入済証押印			
						引渡書		1	完成時				
						請求書 完成写真		1	完成時				
1 4 電気工事		①一般事項		■電気工事は電気事業法、電気設備に関する技術基準を定める省令、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」、建築基準法、消防法、その他関係法令、（社）日本電気協会が定める内線規定及び供給電力会社の供給規定に基づき施工する。 また、設計図書に記載がなくとも設備機能上、外観上、構造上当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い請負金額内において施工する。軽微な変更についても同様とする。									
		②官庁手続き		■本工事に必要な官公庁機関等への手続きは請負者が行い、その費用は請負者の負担とする。									
		③使用材料		■使用する機材については、製品仕様書等を提出し監督員の承認を受けてから使用するものとする。									
1 5 外構工事		①一般事項		■工事範囲などは、設計図によるほか監督員の指示によるものとする。									
		②舗装		■アスファルト舗装（ A-5-15 ） ☐ コンクリート舗装（ ） ☐ その他（ ）									
		3.境界線		■歩道境界線既製ブロック ☐ 御影石彫り込み記し加工(100mm×100mm) ■その他（メッシュフェンス）									
		4.敷地内排水溝		■溝 ☒ 既製U字形溝 ☐ 既製L型側溝 ☐ 現場打ちコンクリート溝 ☐ その他（ ） ■蓋 ☐ 蓋なし ☐ コンクリート製 ☐ 鉄製（防錆処理） ☒ 垂鉛めっきグレーチング ☐ その他（ ）									
		5.植栽、造園		☐ 植栽の支柱の種類 ☐ 三脚 ☐ 四脚 ☐ 鳥居型 ☐ 新植、移植、芝貼りの補償期間 ☐ 1年間 ☐ 2年間 ☐ 3年間 ☐ 客土、盛土 ☐ 必要（図示及び協議による） ☐ 不要									
1 6 雑工事													
1.表札		☐ 材質 ☐ 木製 ☐ 金属製 ☐ 石製 ☐ その他() ☐ 別途工事											
2.郵便受け		■材質 ☒ ステンレス製 ☐ アルミ製 ☐ その他() ■錠 ☐ ダイヤル式 ☒ カギ式（南京錠式） ☐ 別途工事											
履行名称		旭小こどもプラッツ新築工事		作図年月日		図名		縮尺		備考		図面番号	
太田市建築住宅課				2026.8		特記仕様書5						A-05	

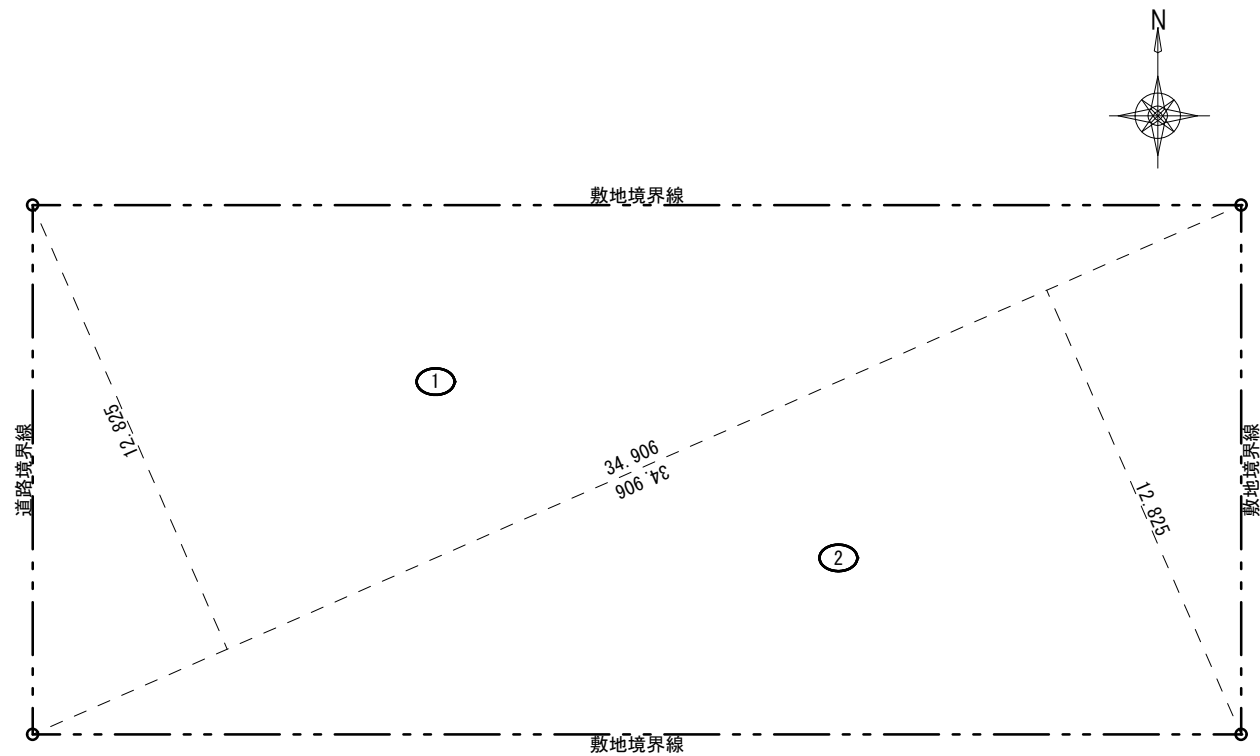


配置図 1/200

※雨水処理は宅内浸透とする。
※道路斜線は、後退距離が十分確保されているため、制限にはかからない。
※隣地斜線は、建物最高高さが20m以下であるため、制限にはかからない。
※盛土規制法の許可対象となる宅地造成等の工事なし

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	案内図 配置図	1/200		A-06

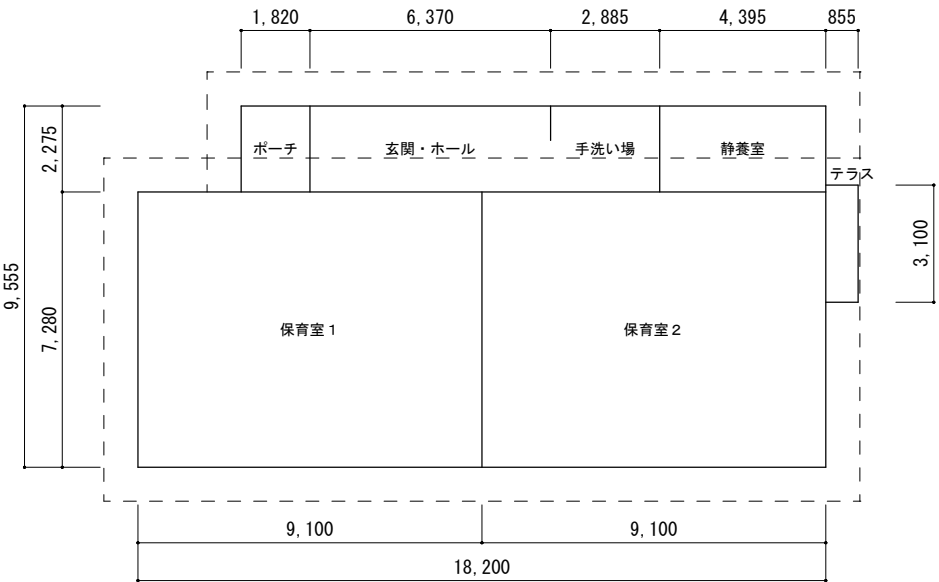
工事名称	旭小こどもプラッツ新築工事					外部仕上表		防火材料等				
敷地概要	建築地	群馬県太田市東矢島町1249番1地内			敷地面積	447.66㎡		部 位	仕 上	化粧石膏ボード	NM-1864	
	用途地域	第一種中高層住居専用地域			防火地域	指定なし		屋 根	構造用合板 t=12 改質アスファルトフイック カラーガルバリウム鋼板縦ハゼ 葺き t=0.4、テラス：ポリカーボネート板(防火認定DW-0046)		化粧石膏吸音ボード	NM-4244(1)
建物概要	主要用途	児童福祉施設等	工事種別	新築	構造	木造		軒 裏	ケイ酸カルシウム板 t=6 突付け		ビニールクロス	NM-9904
	階数	1 階						外 壁	窯業系サイディング t=16（防火構造：PC030BE-9201）ニフェルン 同等		化粧ケイ酸カルシウム板	NM-0038
建築面積	申請建物		申請以外		合計		建ぺい率		巾 木	コンクリート打放し補修		
	170.34㎡				170.34㎡		37.05%		建 具	7ルミナッ		
床面積	申請建物		申請以外		合計		容 積 率		断熱材	床：発泡プラスチック系断熱材 t=50 熱抵抗値1.3 複合フォーム洋室用LDK455 50同等、古紙混入発泡ポリスチレン t=45 熱抵抗値1.3 フクフォームECO同等		
	163.55㎡				163.55㎡		36.53%			壁：高性能グラスウール10K t=100 熱抵抗値2.3 アクリアマット同等、天井：高性能グラスウール14K t=155 熱抵抗値4.1 アクリアマット同等		



敷地求積図 1/200

敷地求積表

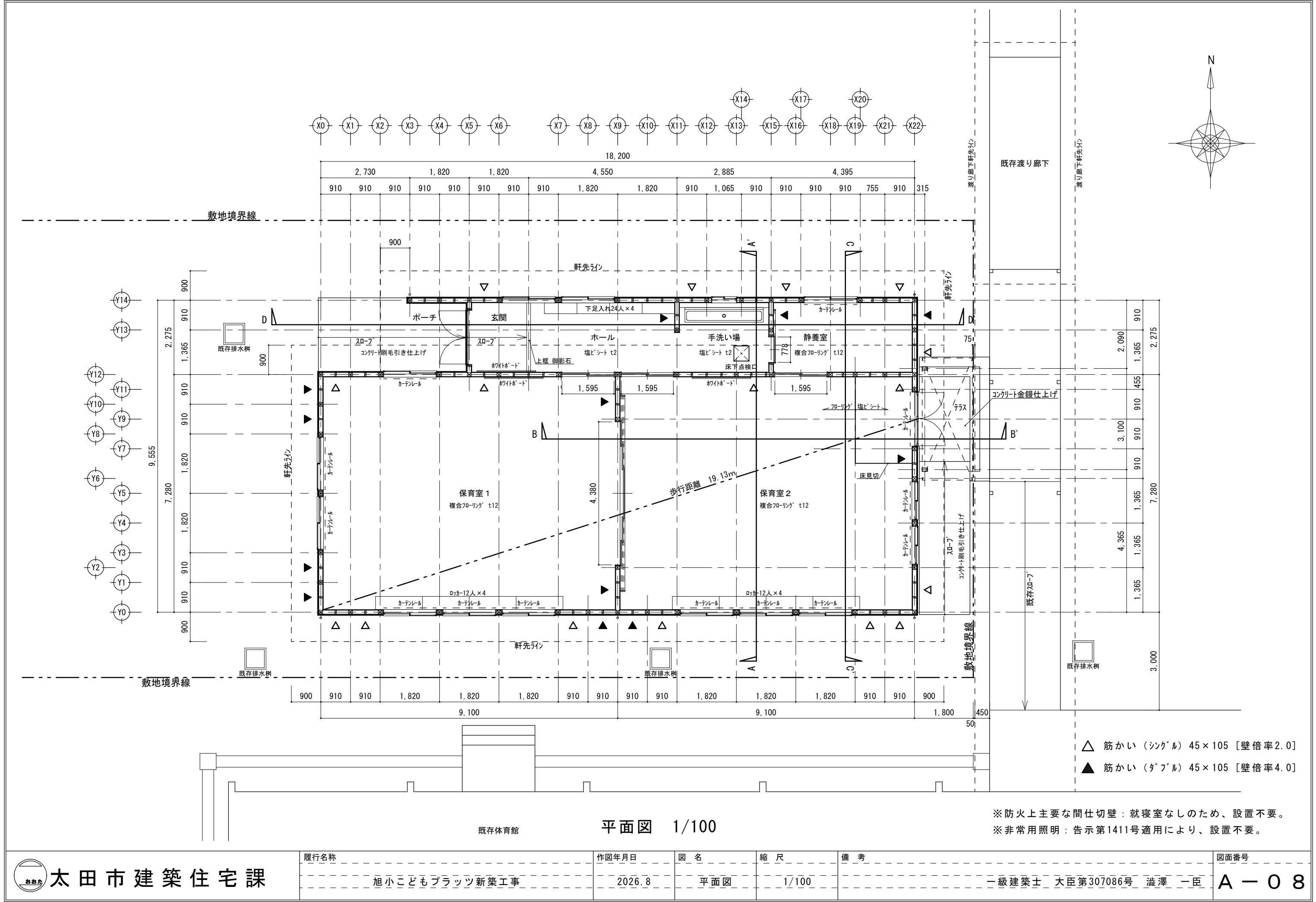
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	34.906	12.825	447.669450	223.8347250
2	34.906	12.825	447.669450	223.8347250
合 計				447.6694500
敷 地 面 積				447.66 m ²



求積図

室名	寸法 (m)			面積 (m2)
保育室 1	7.280	×	9.100	66.248
保育室 2	7.280	×	9.100	66.248
静養室	2.275	×	4.395	9.999
手洗い場	2.275	×	2.885	6.563
玄関・ホール	2.275	×	6.370	14.492
計				163.550
延べ床面積				163.55m2

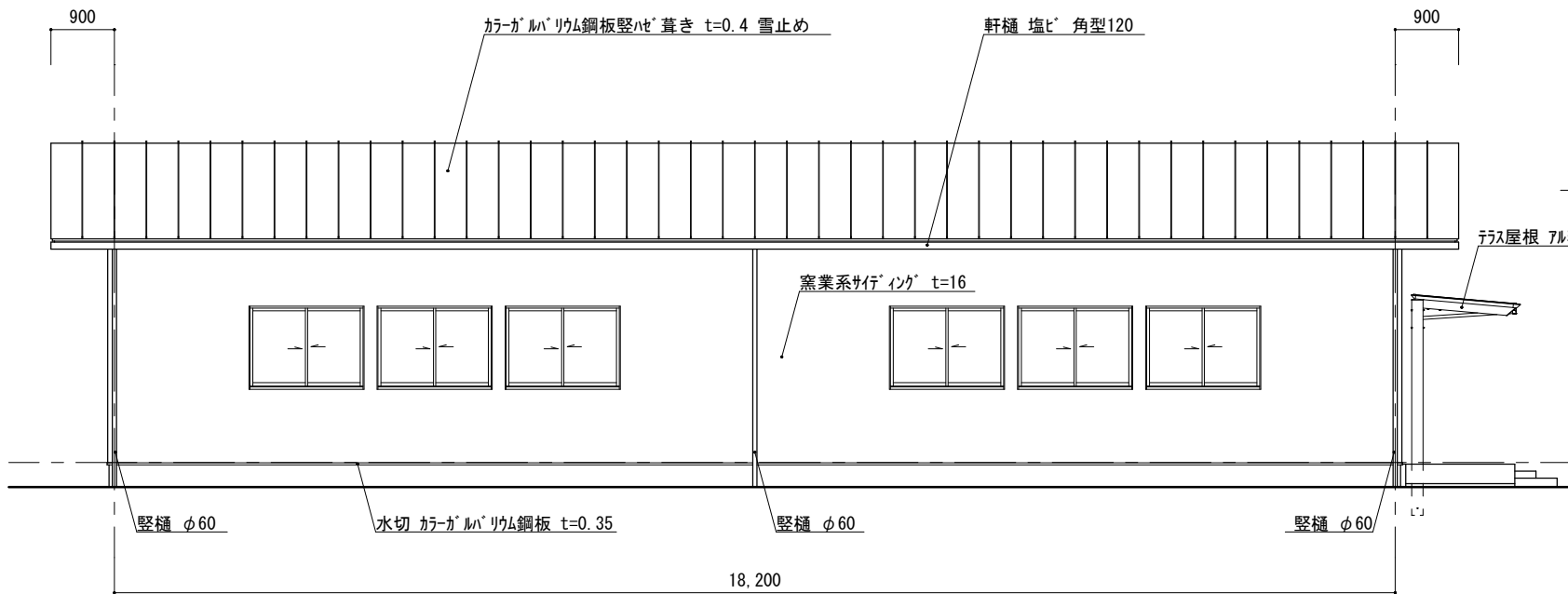
ポーチ	3.100	×	0.855	2.651
テラス	2.275	×	1.820	4.141
計				170.342
建築面積				170.34m2



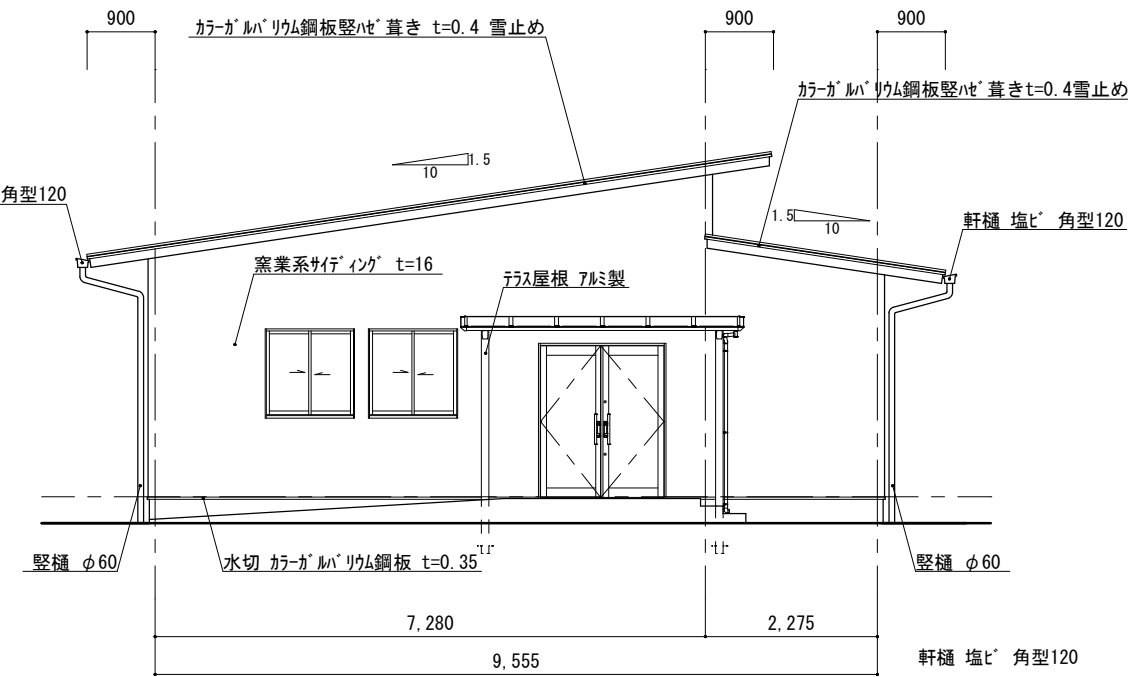
- △ 筋かい (シングル) 45×105 [壁倍率2.0]
- ▲ 筋かい (ダブル) 45×105 [壁倍率4.0]

※防火上主要な間仕切壁：就寝室なしのため、設置不要。
※非常用照明：告示第1411号適用により、設置不要。

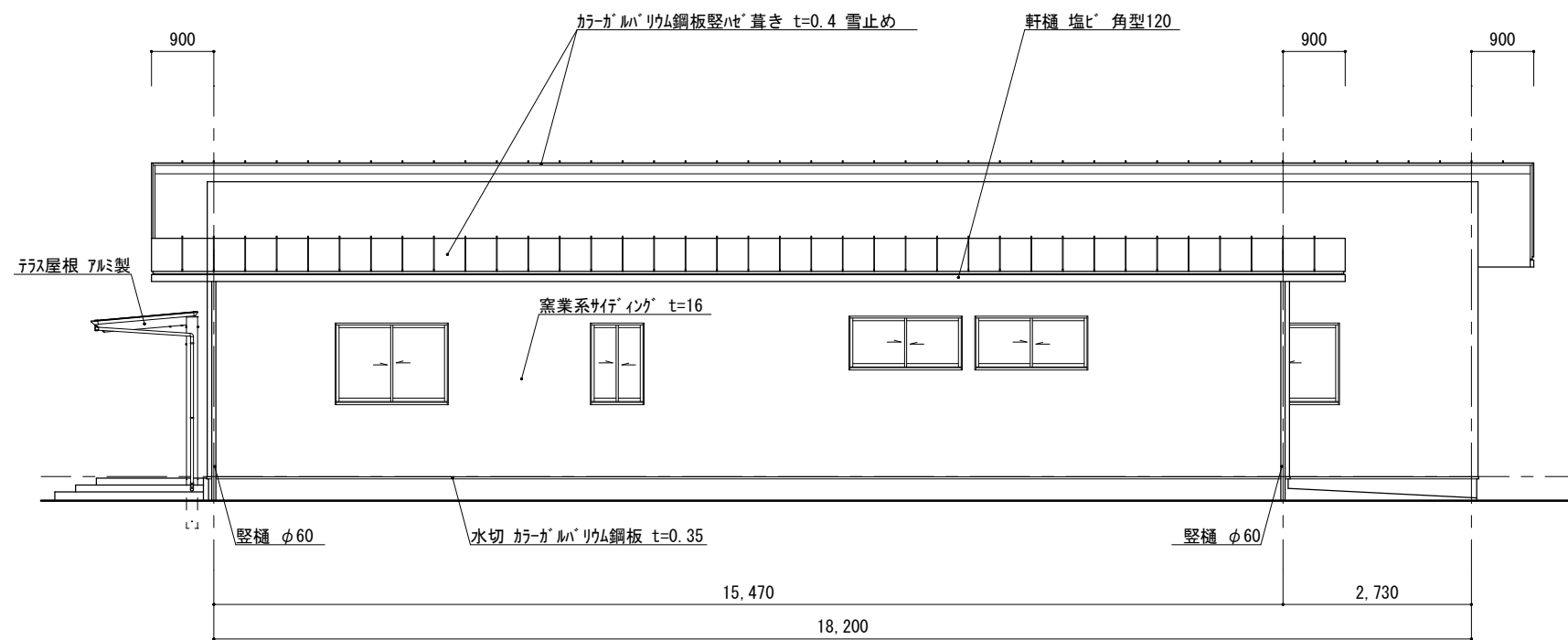
おわた 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	平面図	1/100	一級建築士 大臣第307086号 澁澤 一臣	A-08



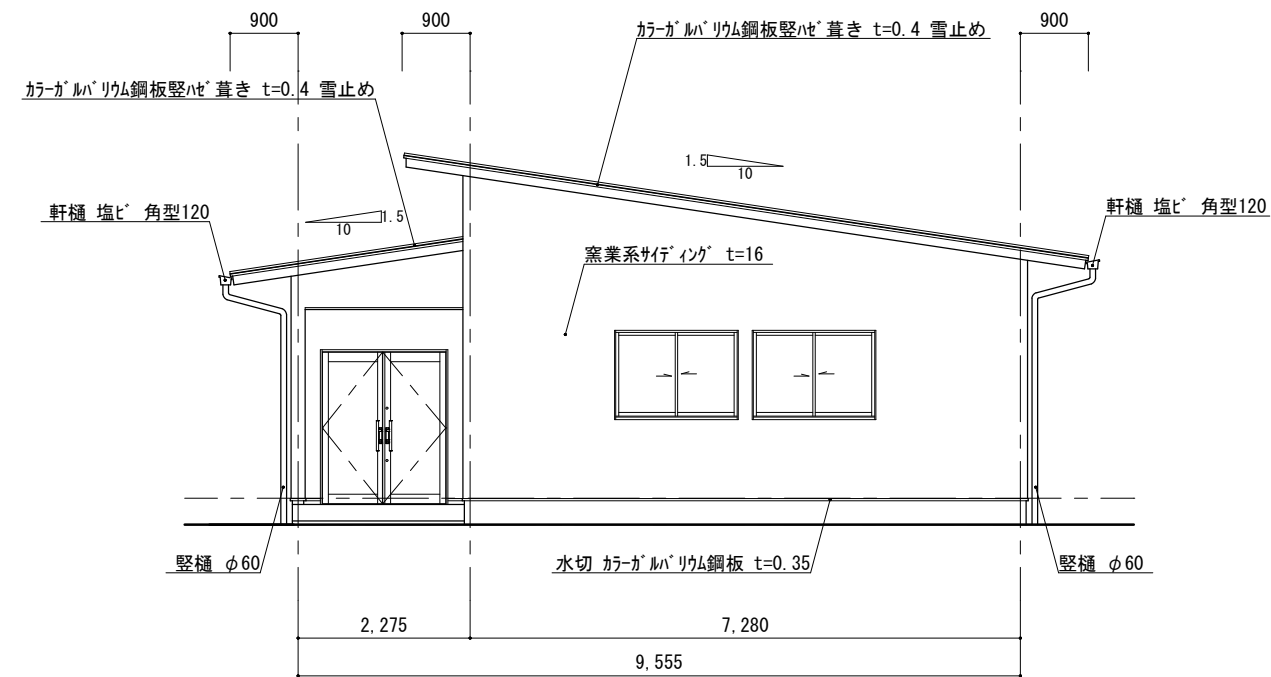
南立面図 1/100



東立面図 1/100

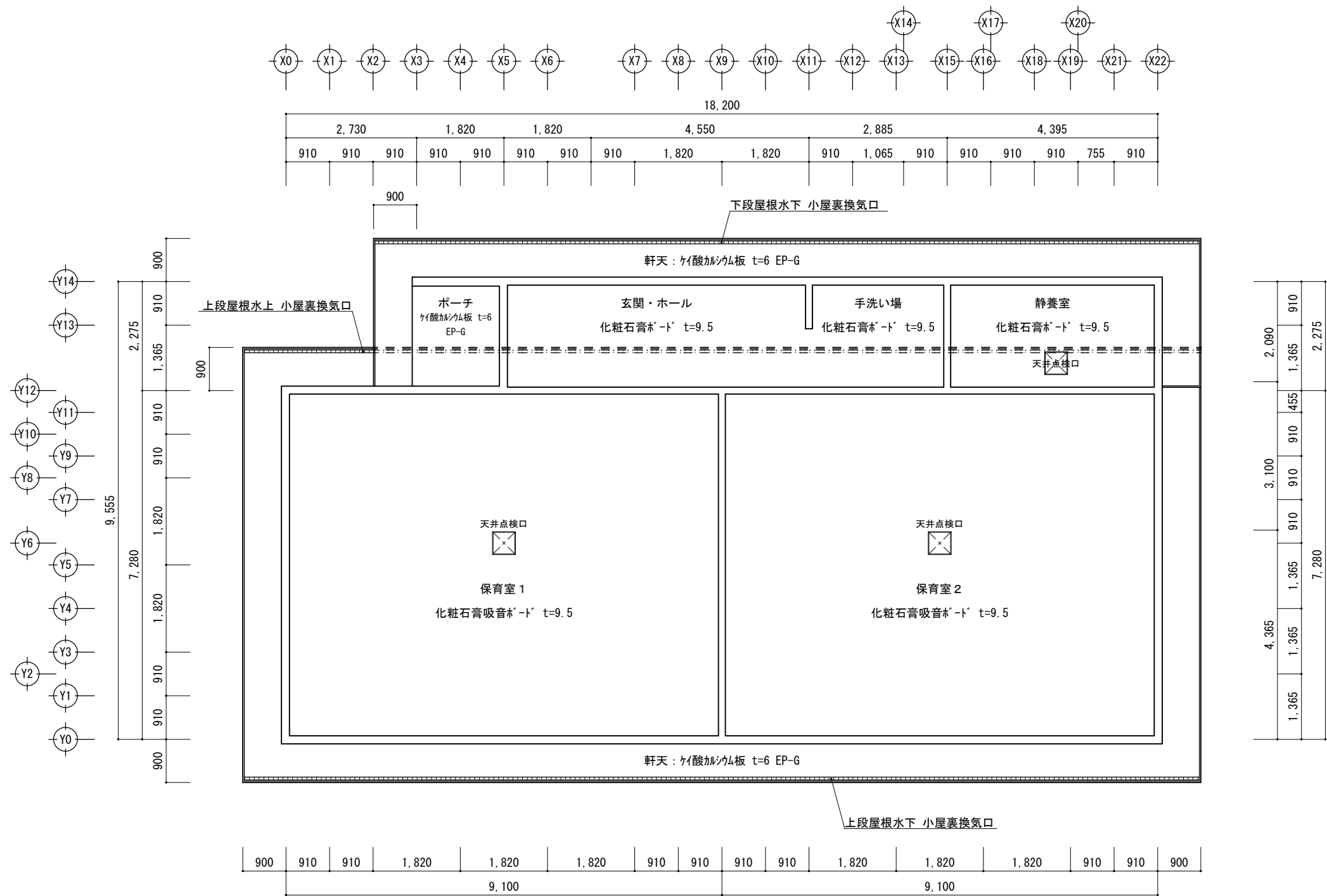
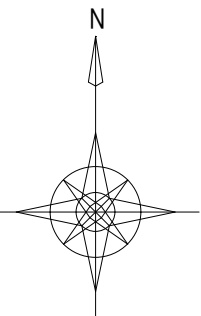


北立面図 1/100



西立面図 1/100

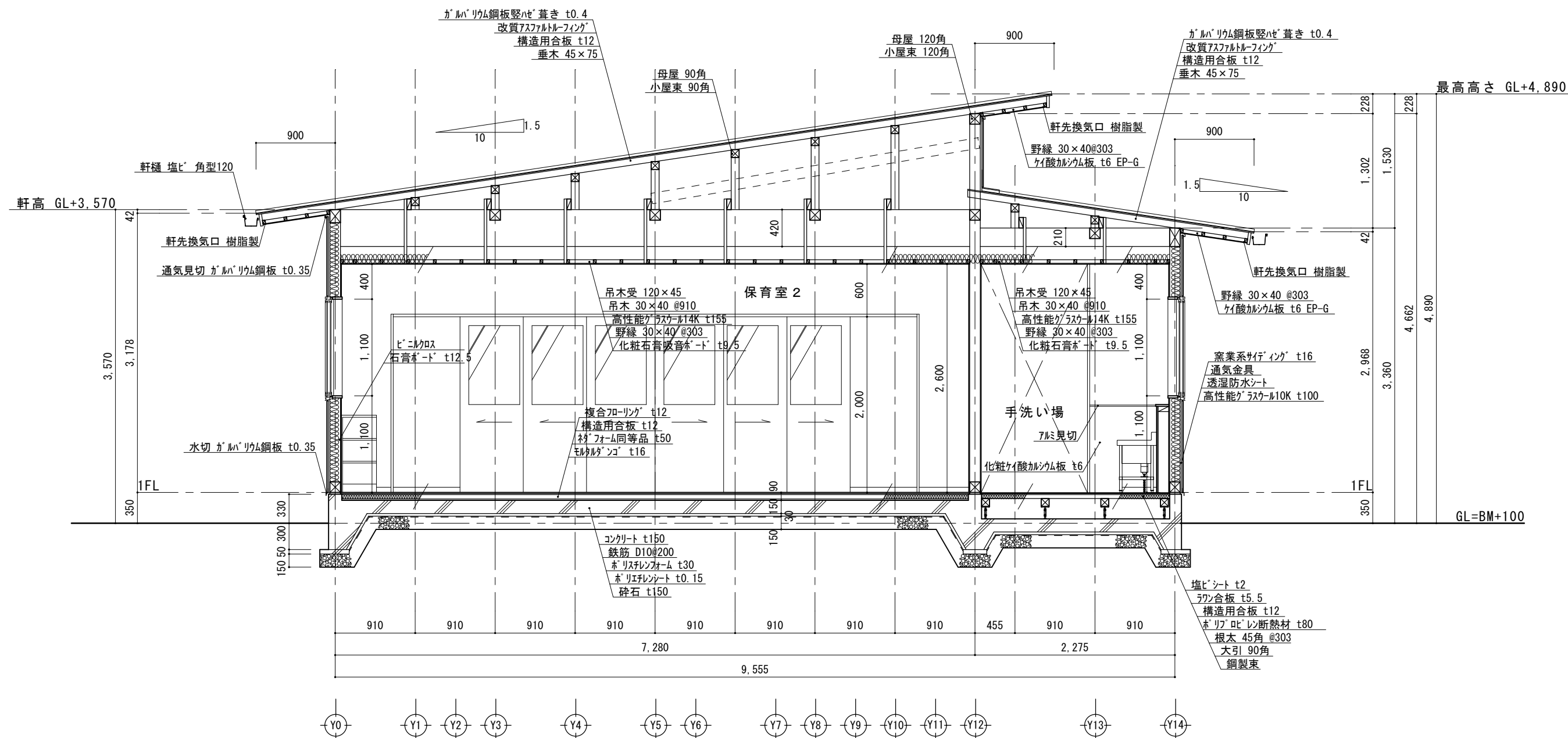
 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	立面図	1/100		A-09



□□□□□□□□□□: 小屋裏換気口 城東テクノ(株) 樹脂製軒天換気材同等
有効換気面積102.0cm²/m

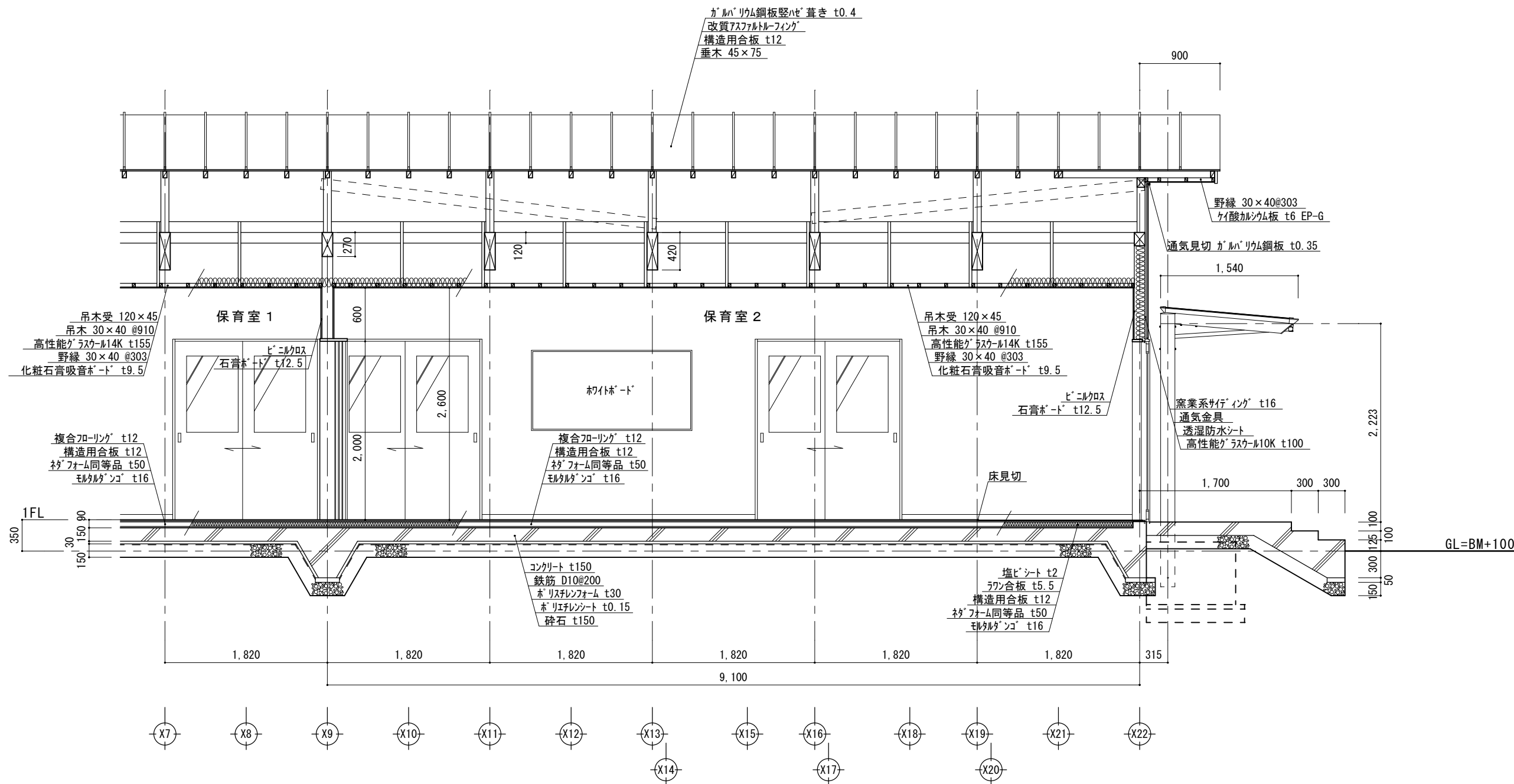
天井伏図 1/100

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	天井伏図	1/100		A - 1 0



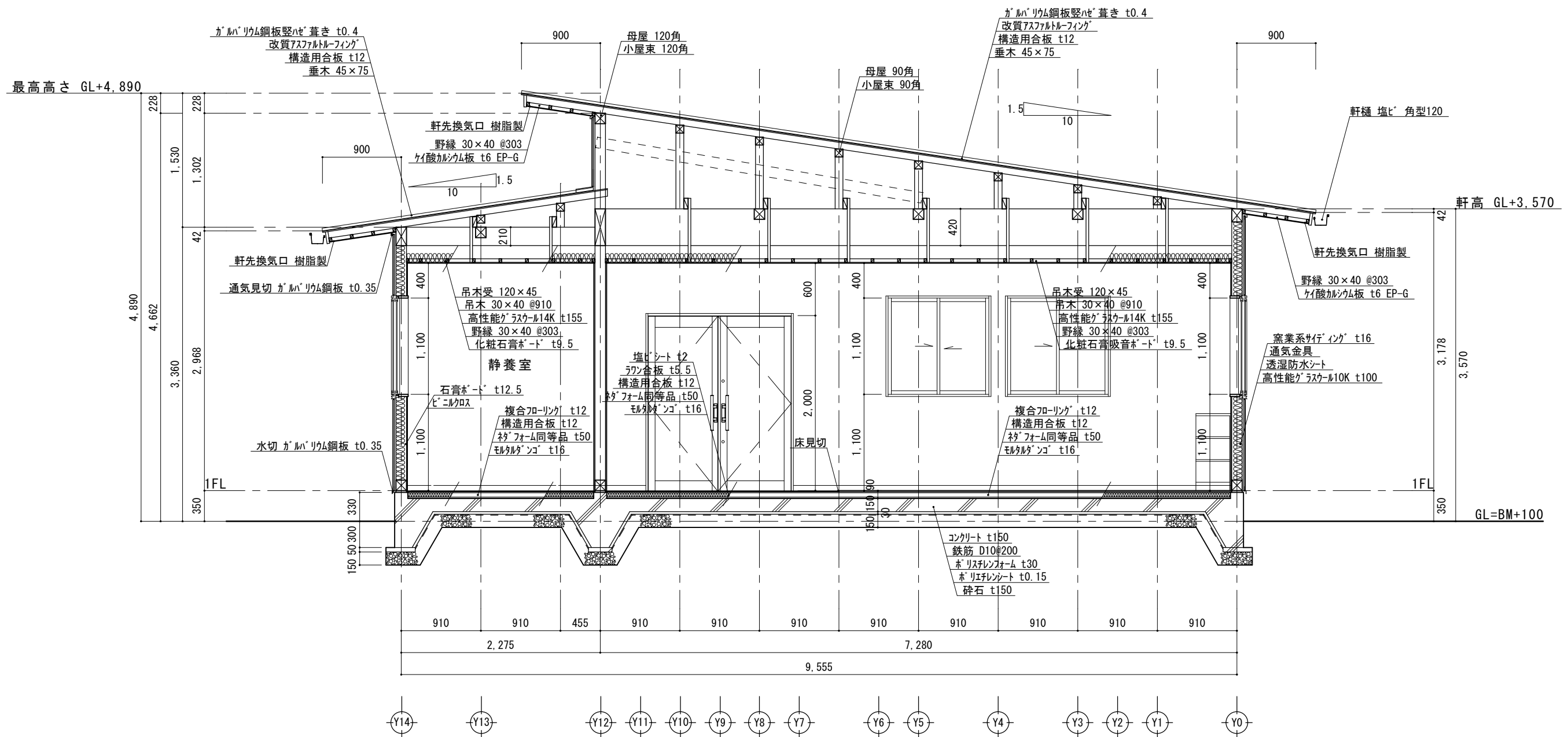
A-A' 矩計図 1/50

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	矩計図1	1/50		A-11



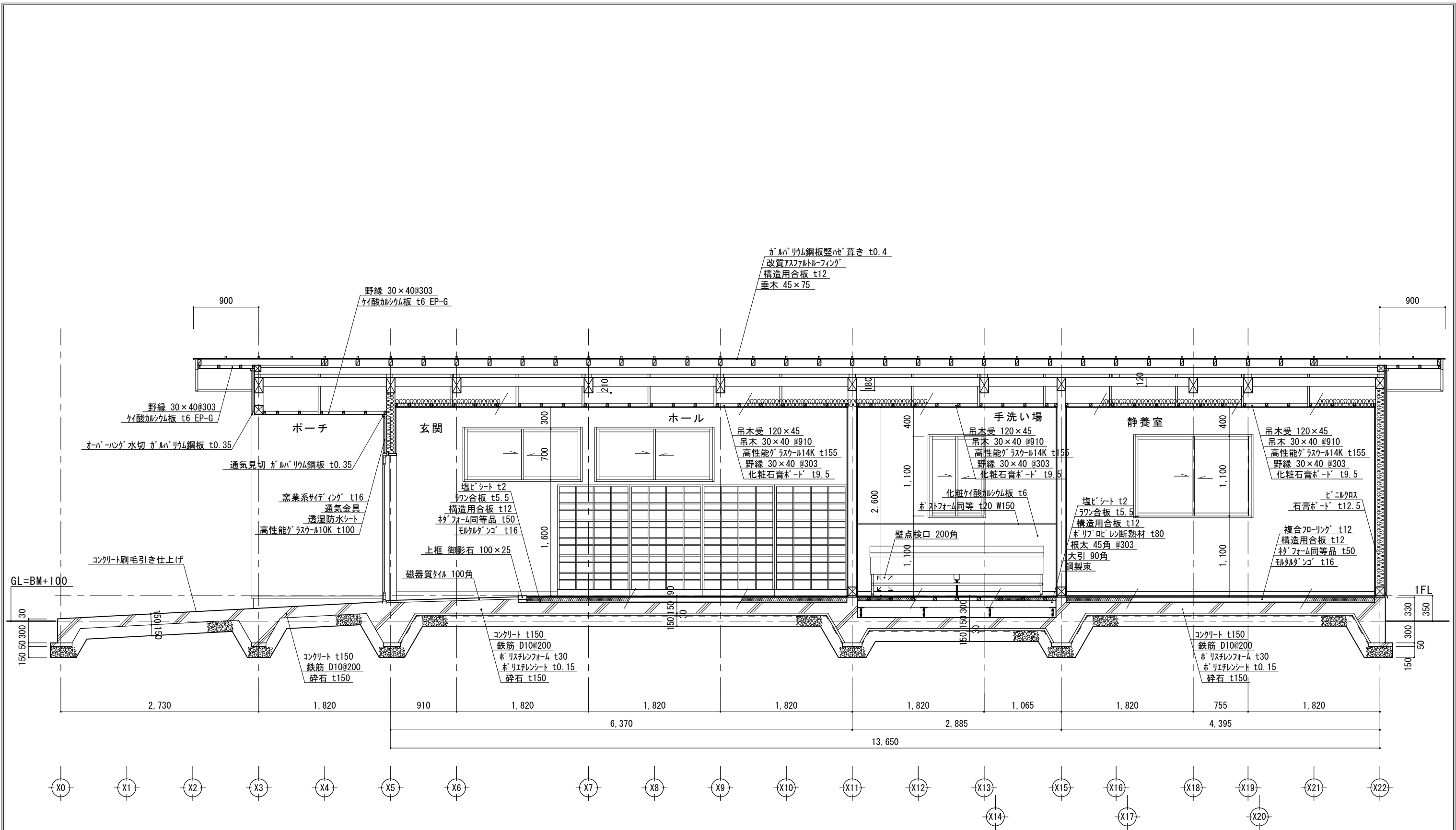
B-B' 矩計図 1/50

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	矩計図2	1/50		A - 1 2



C-C' 矩計図 1/50

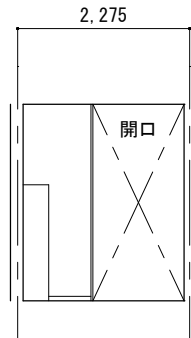
 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	矩計図3	1/50		A - 1 3



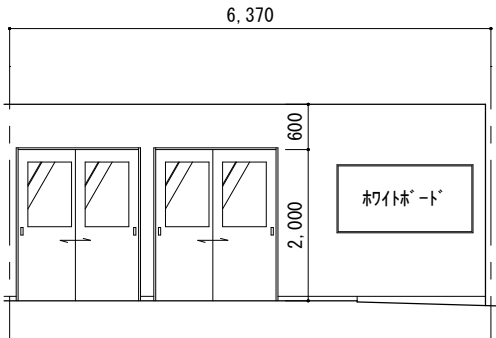
D-D' 矩計図 1/50

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	矩計図4	1/50		A - 1 4

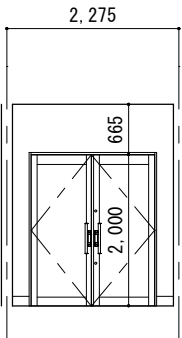
玄関・ホール	
天井	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁 塩ビ
壁	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス
巾木	ソフト巾木 H=60 磁器質タイル 100角
床	構造用合板 t=12、ラワン合板 t=5.5、塩ビシート t=2 コンクリート、磁器質タイル100角
上框 御影石 スチール下足入れ ホワイトボード	



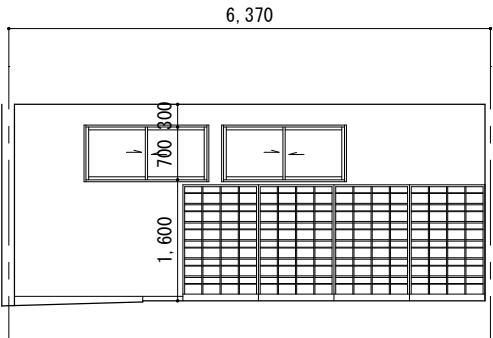
東面



南面

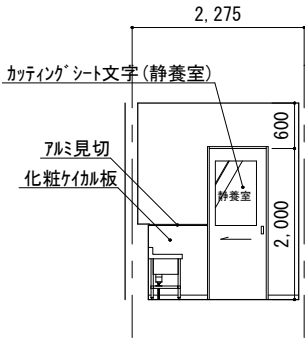


西面

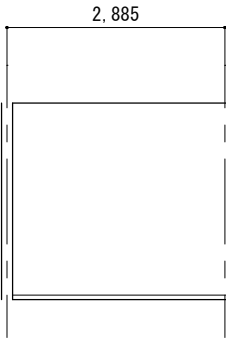


北面

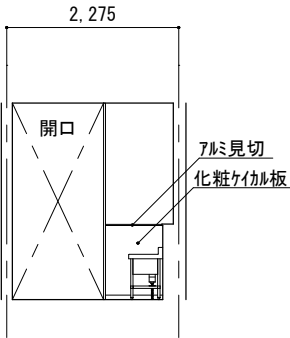
手洗い場	
天井	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁 塩ビ
壁	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス
巾木	ソフト巾木 H=60
床	構造用合板 t=12、ラワン合板 t=5.5 塩ビシート t=2
ライング ステンレス流し 壁点検口 200角 サイン(カッティングシート) 床点検口 450角	



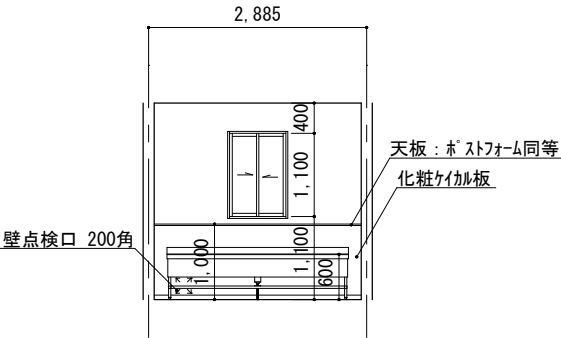
東面



南面

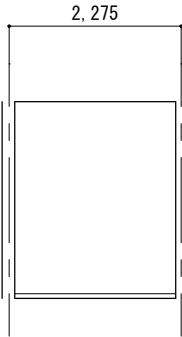


西面

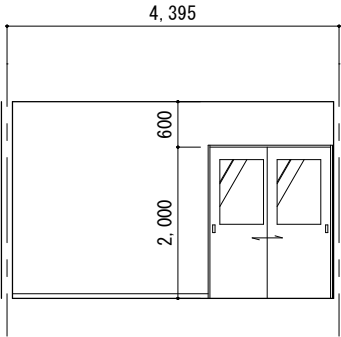


北面

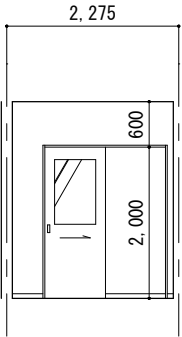
静養室	
天井	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁 塩ビ
壁	石膏ボード t=12.5 ビニルクロス
巾木	ソフト巾木 H=60
床	構造用合板 t=12 複合フローリング t=12
AW-1 カーテンレール カーテン	



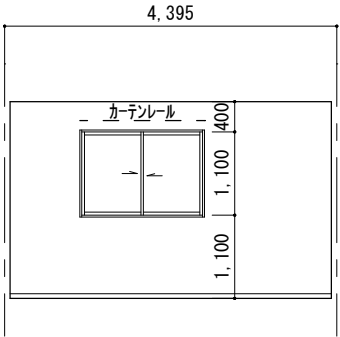
東面



南面



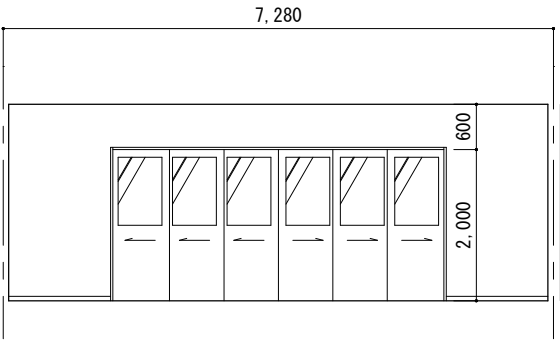
西面



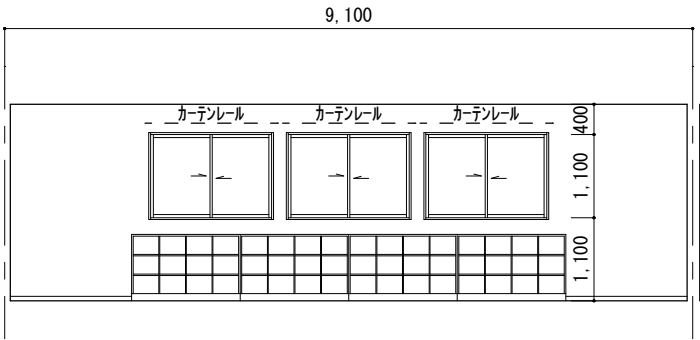
北面

履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	展開図1	1/100		A-15

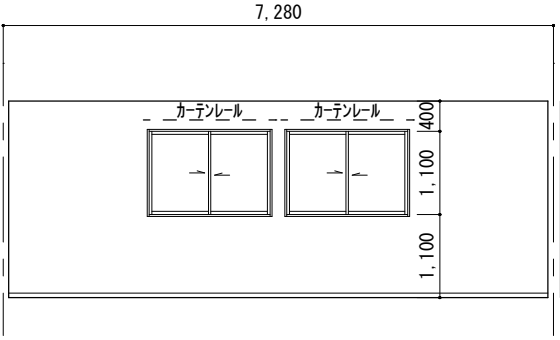
保育室 1	
天井	化粧石膏吸音ボード t=9.5 廻縁 塩ビ
壁	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス
巾木	ソフト巾木 H=60
床	構造用合板 t=12 複合フローリング t=12
スチールロッカー AW-1 カーテンレール カーテン ホワイトボード 1800×900	



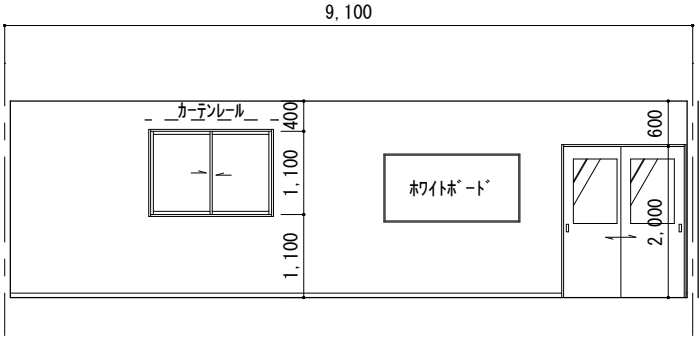
東面



南面

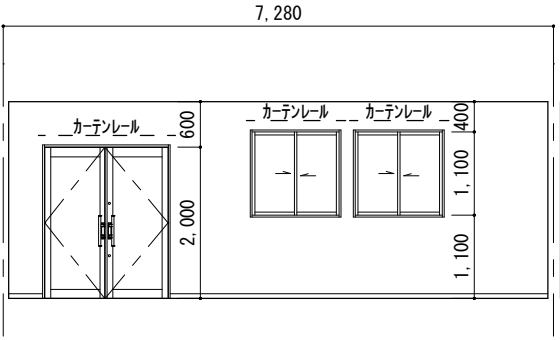


西面

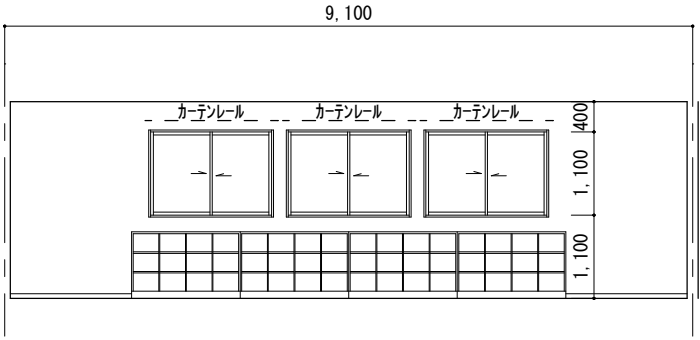


北面

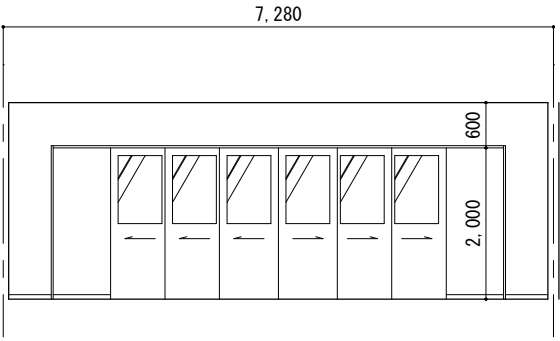
保育室 2	
天井	化粧石膏吸音ボード t=9.5 廻縁 塩ビ
壁	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス
巾木	ソフト巾木 H=60
床	構造用合板 t=12、複合フローリング t=12 構造用合板 t=12、ラワン合板 t=5.5、塩ビシート t=2
ライニング スチールロッカー AW-1 AW-2 AW-4 カーテンレール カーテン ホワイトボード 1800×900 サイン(カッティングシート)	



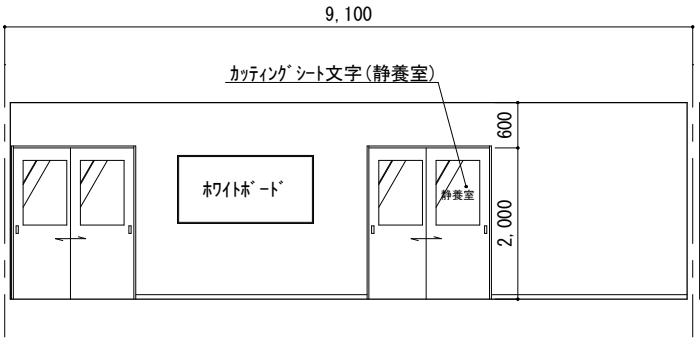
東面



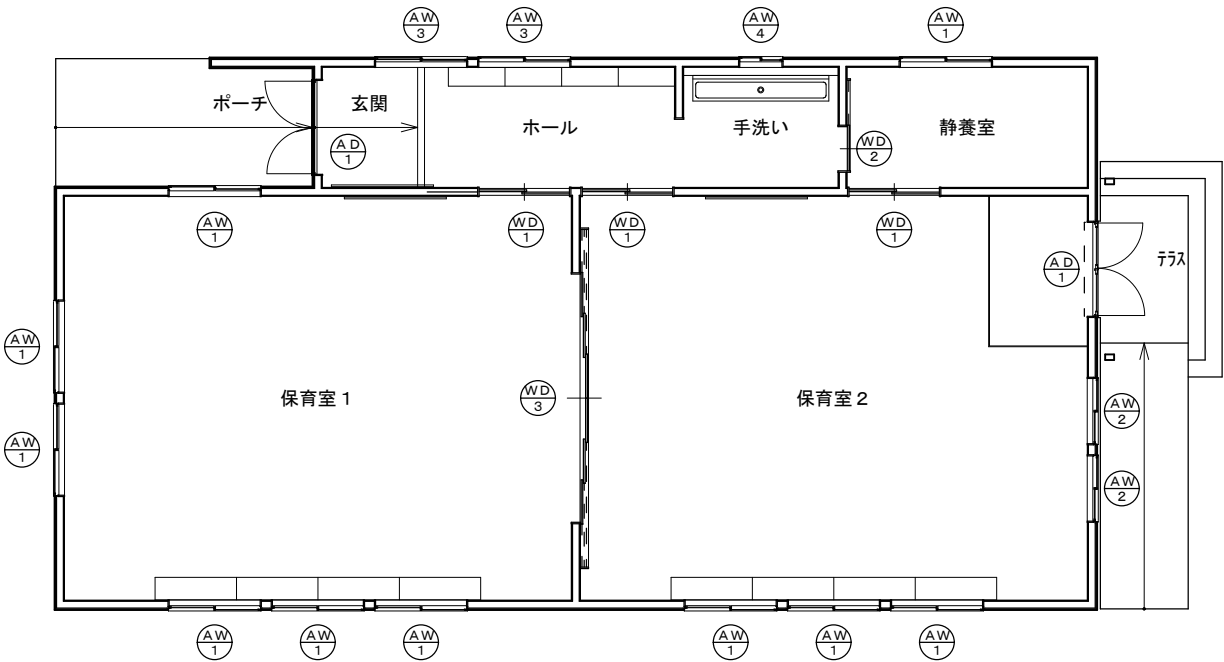
南面



西面

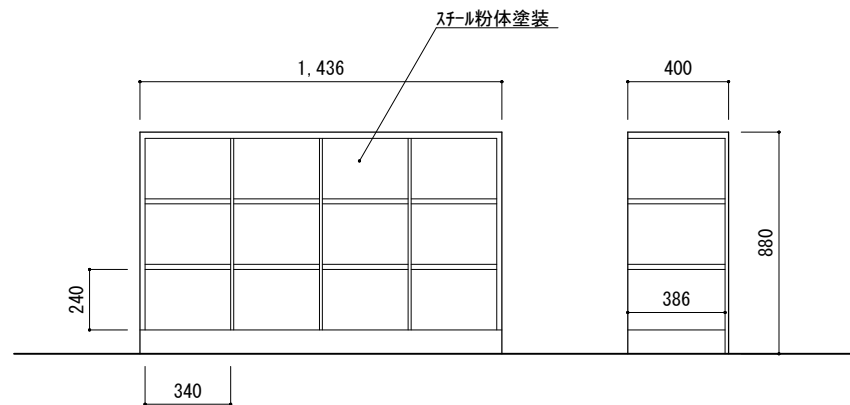


北面

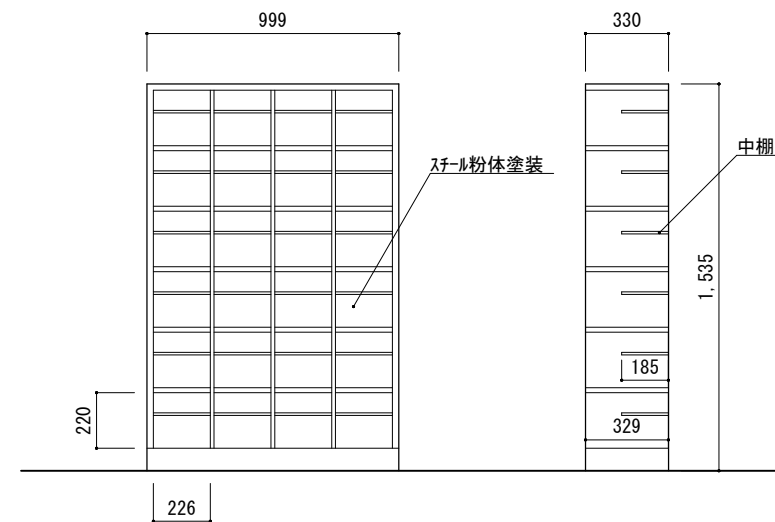


建具キープラン

記 号 ・ 数 量	AW 1	10箇所	AW 2	2箇所	AW 3	2箇所
形 状						
場 所	保育室 1 保育室 2 静養室		保育室 2		玄関・ホール	
形 式	住宅用引き違い窓（半外付け）		住宅用引き違い窓（半外付け）		住宅用引き違い窓（半外付け）	
見 込						
材質・仕上	アルミ		アルミ		アルミ	
ガラス	透明3+A6+強化透明4（室内）		透明3+A6+強化透明4（室内）		透明3+A6+強化透明4（室内）	
金 物	標準金物一式 クレセント		標準金物一式 クレセント		標準金物一式 クレセント	
備 考	網戸 MDF額縁		網戸 MDF額縁		網戸 MDF額縁	
記 号 ・ 数 量	AW 4	1箇所	AD 1	2箇所	WD 1	3箇所
形 状						
場 所	保育室 2		玄関 保育室 2		保育室 1 保育室 2	
形 式	住宅用引き違い窓（半外付け）		店舗用両開きドア（半外付け）		引き違いフラッシュ戸（既製品）	
見 込					3 0	
材質・仕上	アルミ		アルミ		木製 オレフィン化粧シート	
ガラス	透明3+A6+強化透明4（室内）		透明3+A6+強化透明4（室内）		学校用強化ガラス t=4	
金 物	標準金物一式 クレセント		標準金物一式 シリコン錠 プッシュプルハンドル		フラッターレール 引き手 戸車 ソフトクローズ 鍵付（静養室）	
備 考	網戸 MDF額縁		MDF額縁		MDF枠	
記 号 ・ 数 量	WD 2	1箇所	WD 3	1箇所		
形 状						
場 所	手洗い場		保育室 1 保育室 2			
形 式	片引きフラッシュ戸（既製品）		引き違いフラッシュ戸（既製品）			
見 込	3 0		3 0			
材質・仕上	木製 オレフィン化粧シート		木製 オレフィン化粧シート			
ガラス	学校用強化ガラス t=4		学校用強化ガラス t=4			
金 物	フラッターレール 引き手 戸車 ソフトクローズ 鍵付		フラッターレール 引き手 戸車 ソフトクローズ			
備 考	MDF枠		MDF枠			

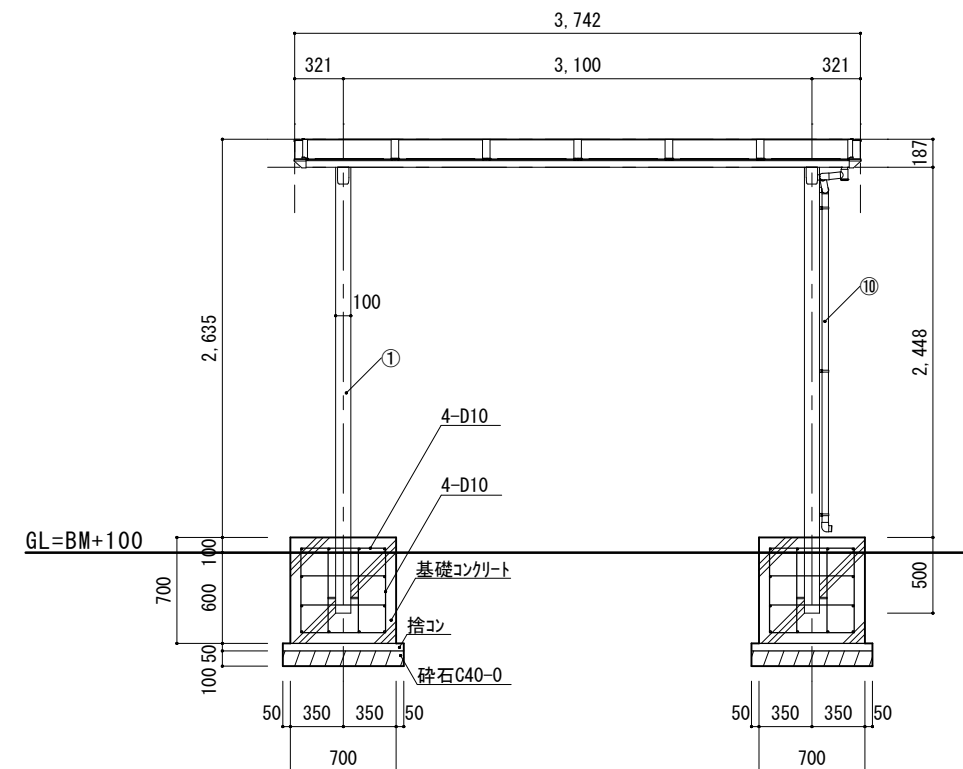
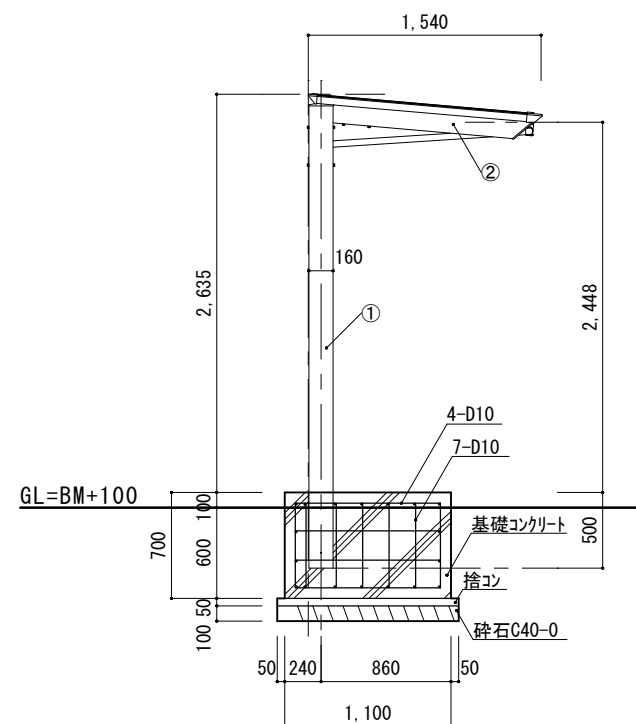
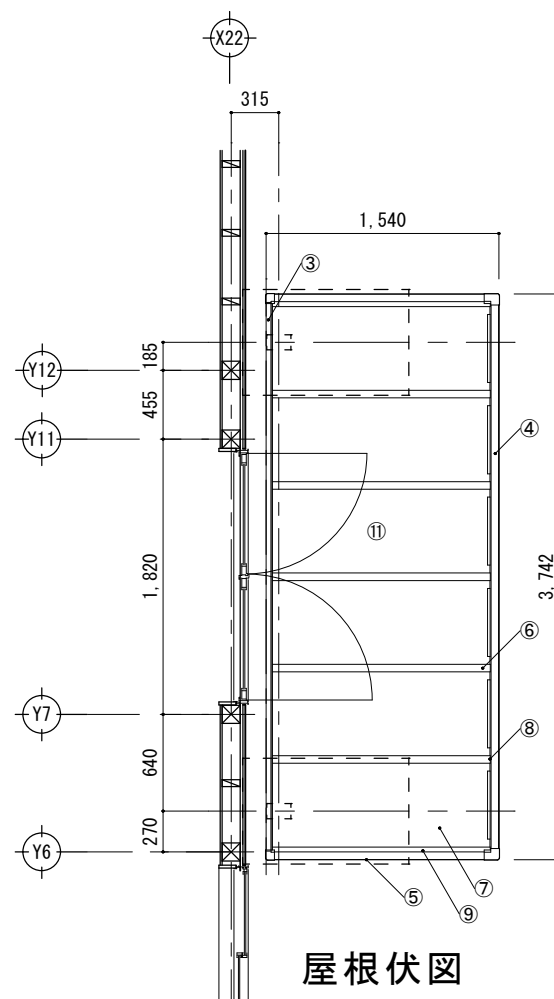


保育室ロッカー詳細図 1/30



下足入れ詳細図 1/30

商品名(参考)	スマートトップ 後柱仕様 同等
型式コード(参考)	SMTRB-K3715
主要部材仕様	
①	支柱 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
②	昇り梁 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③	前枠 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④	後枠 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤	側枠 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥	小梁 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦	母屋 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧	屋根押え 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑨	端部屋根押え 7㍓押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑩	縦樋 ASA+ABS
⑪	屋根材 ホリカーボネート板クリアマット(DW-0046)

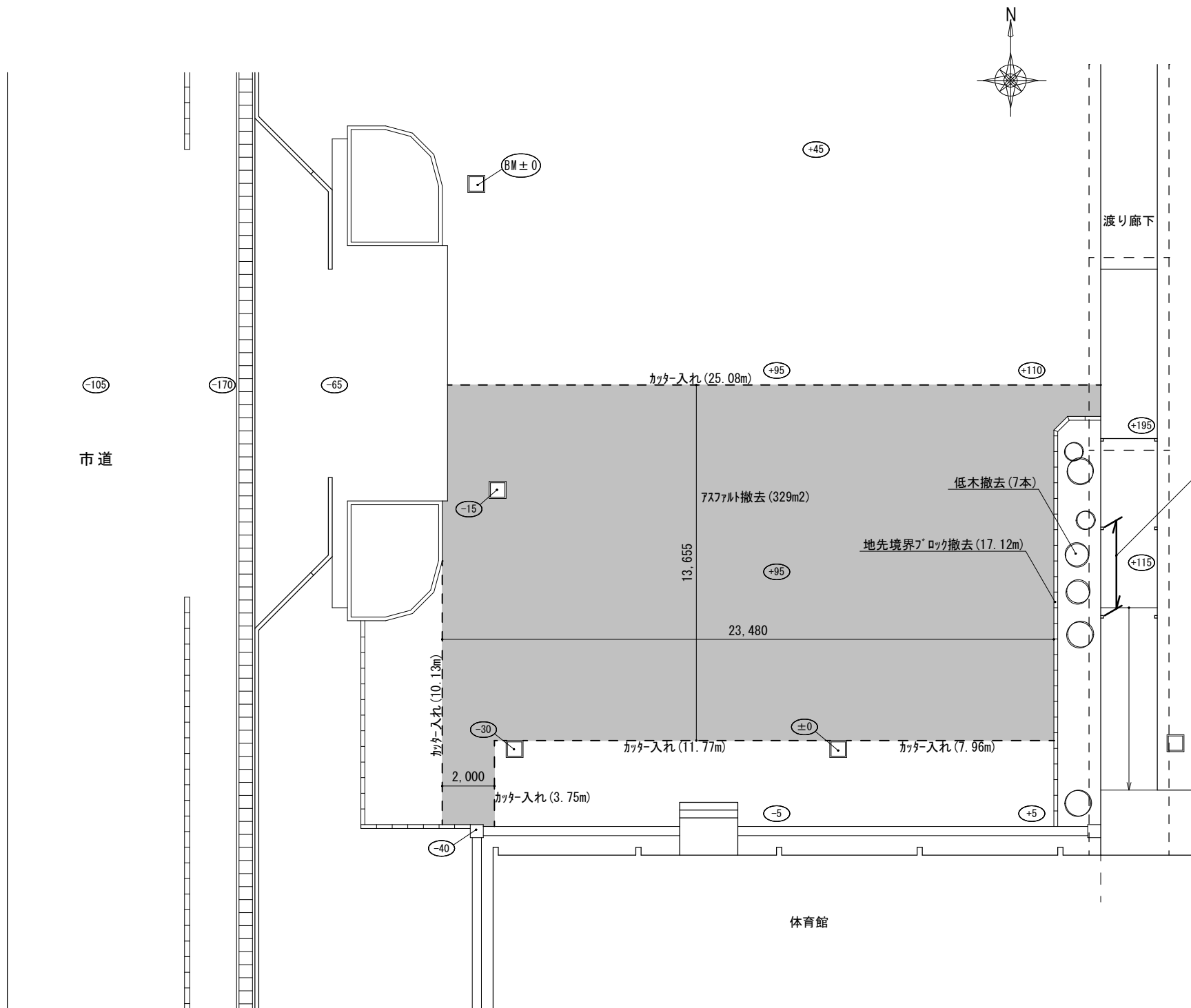


テラス屋根詳細図（参考図） 1/50



太田市建築住宅課

履行名称	旭小こどもプラッツ新築工事	作図年月日	2026.8	図名	詳細図	縮尺	1/30 1/50	備考		図面番号	A-18
------	---------------	-------	--------	----	-----	----	--------------	----	--	------	------



既存敷地図 1/200



渡り廊下腰壁撤去

渡り廊下腰壁撤去 L=3,400 H=1,400 (下地ﾌﾝｸﾞﾙ L50×50×6+ﾎﾟﾘｶﾞﾗｰﾌﾞﾛｯｸ)



低木 (7本) ・ 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去



太田市建築住宅課

履行名称

旭小こどもプラッツ新築工事

作図年月日

2026.8

図名

既存敷地図

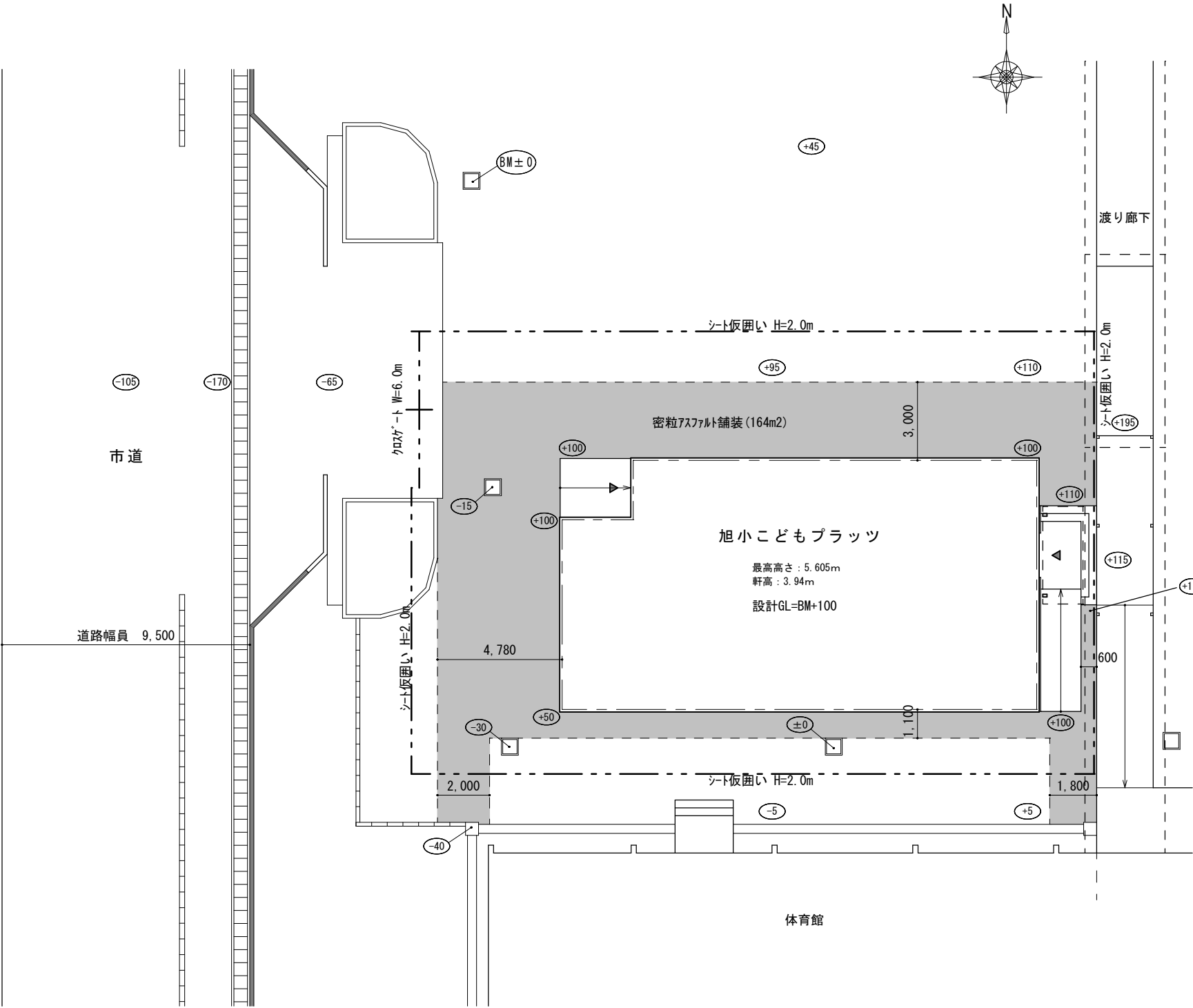
縮尺

1/200

備考

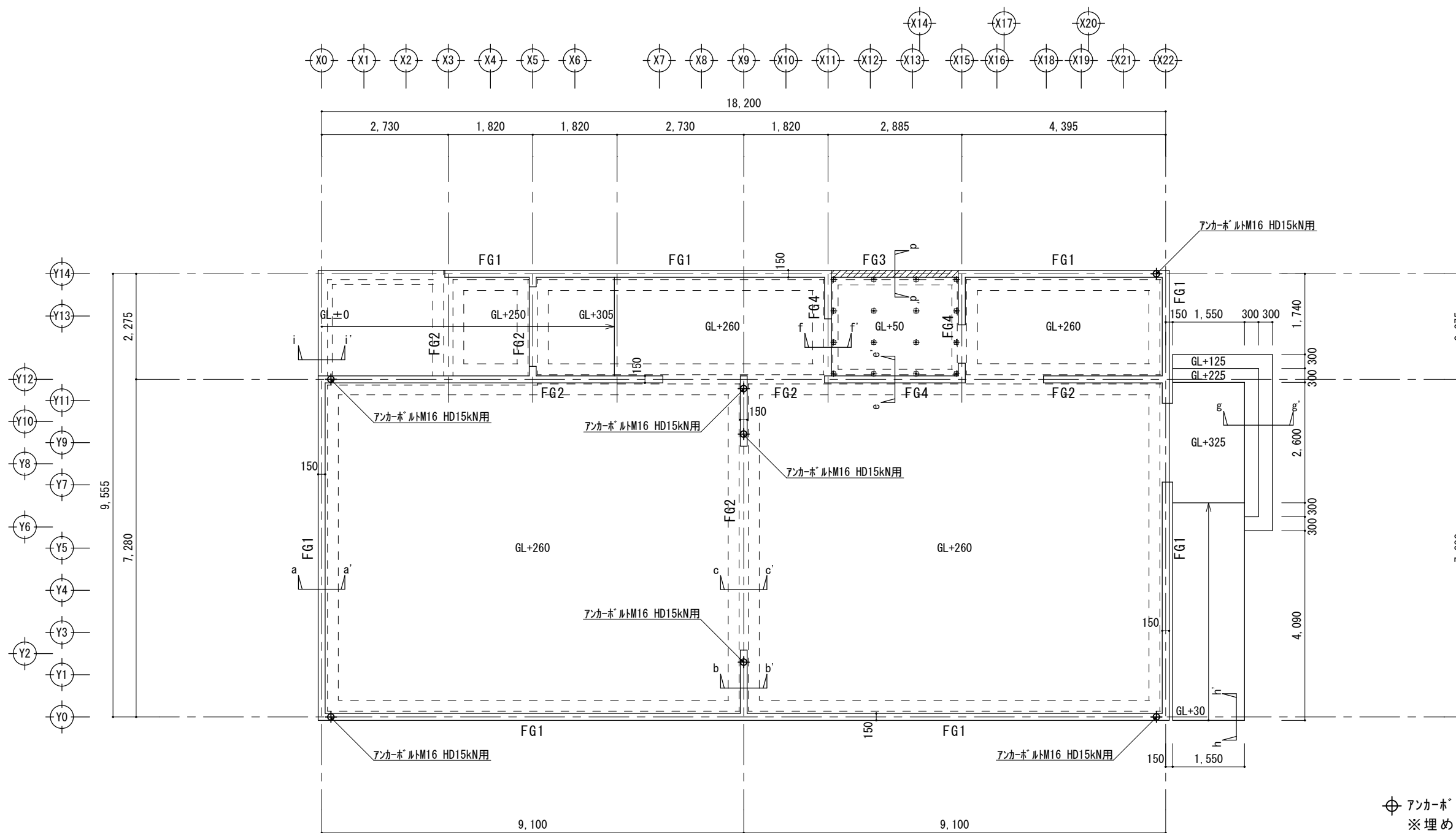
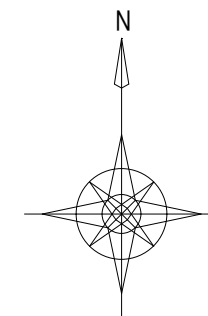
図面番号

A-19



外構図兼仮設計画図 1/200

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	外構図 兼仮設計画図	1/200		A-20



基礎伏図 1/100

⊕ アンカーボルト M16 L=800 HD15KN
※埋め込み長さ360mm以上

アンカーボルト M12 L=450 柱芯より200以内
※柱芯から150mm内外
※埋め込み長さ250mm以上

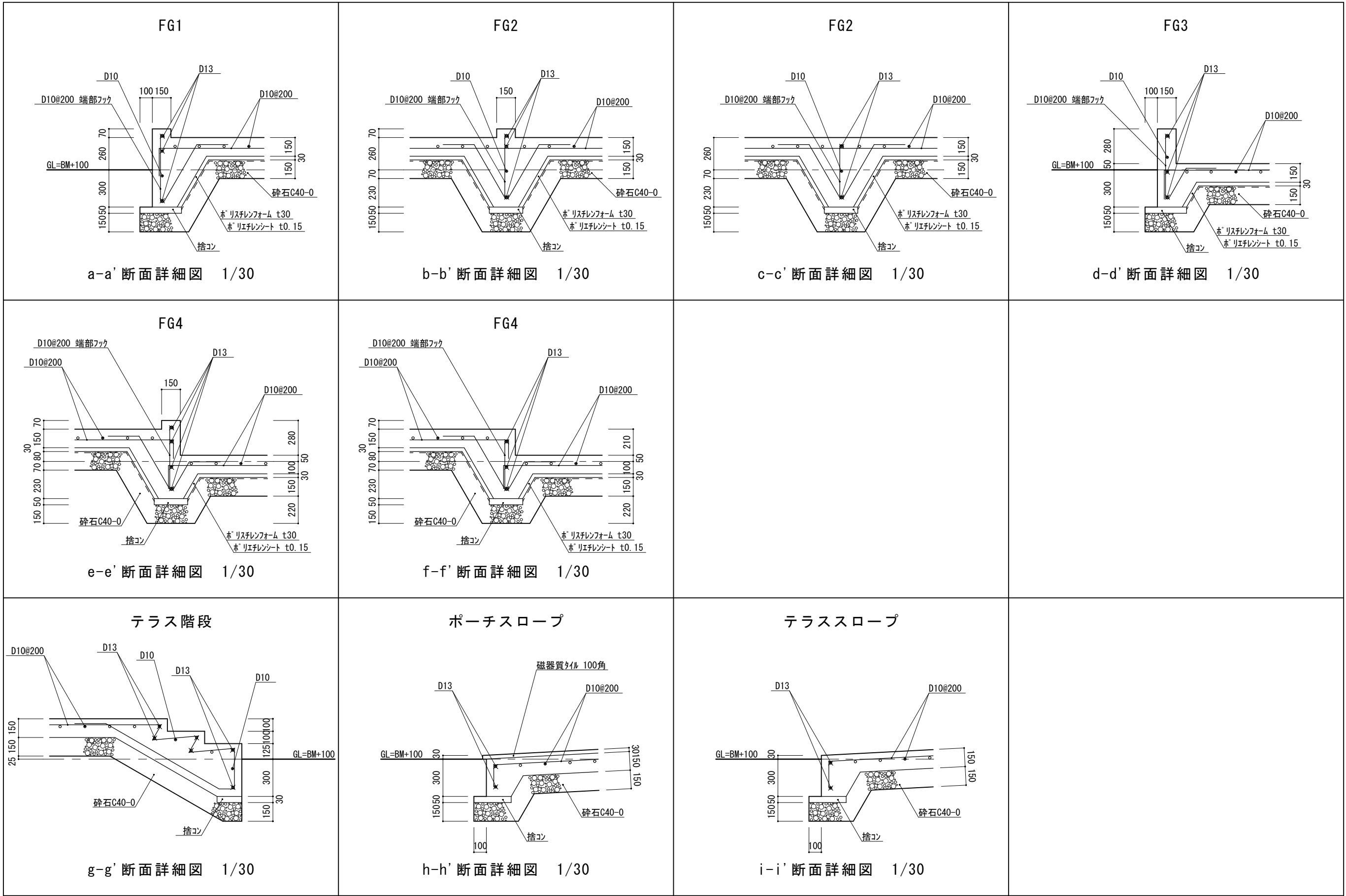
⊕ 鋼製束

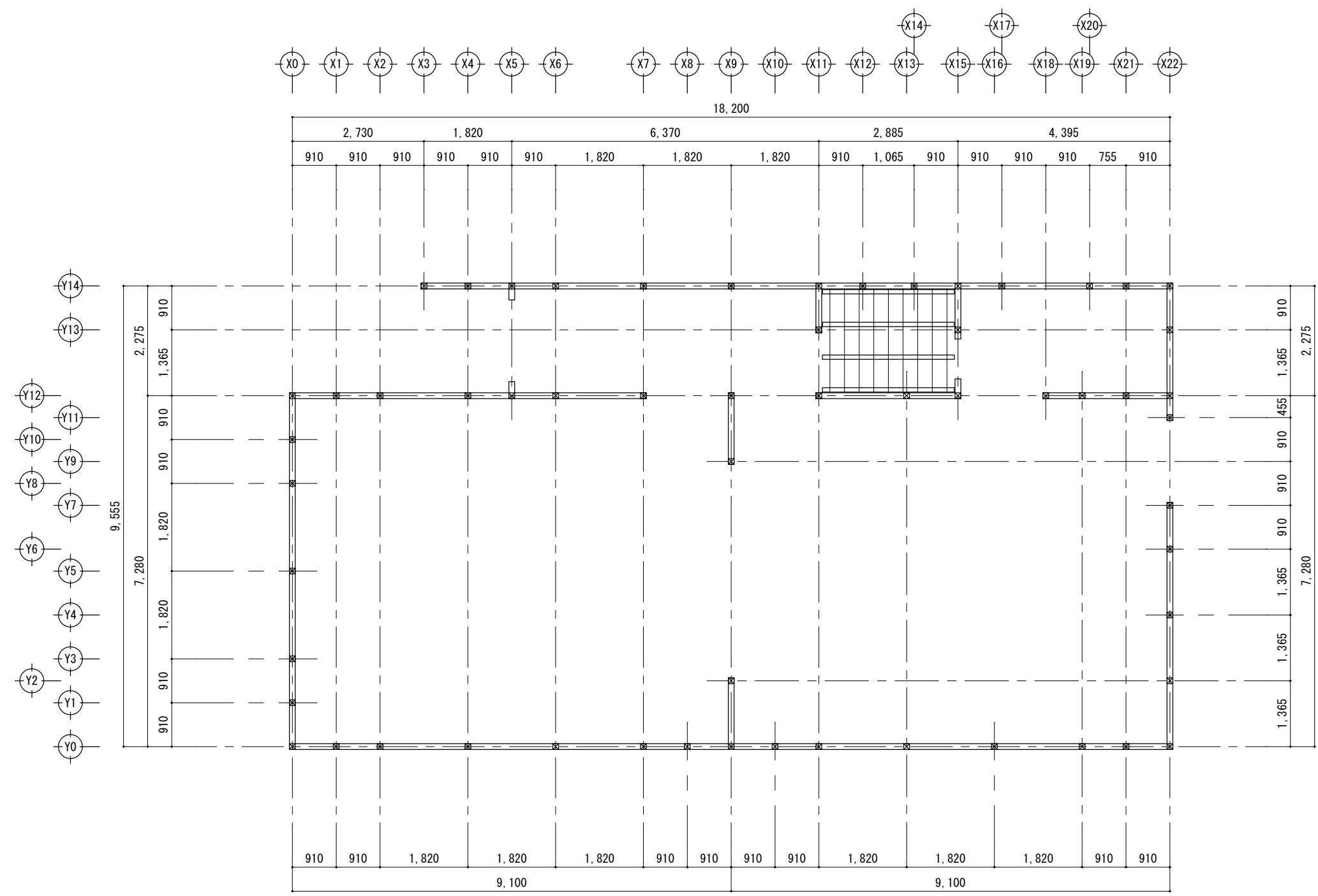
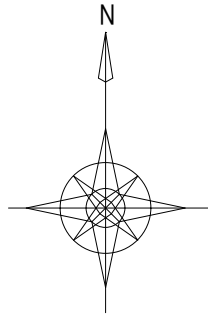
/// 通気基礎パッキンを示す。
その他の部分は、気密パッキンとする。



太田市建築住宅課

履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	基礎伏図	1/100		S-01



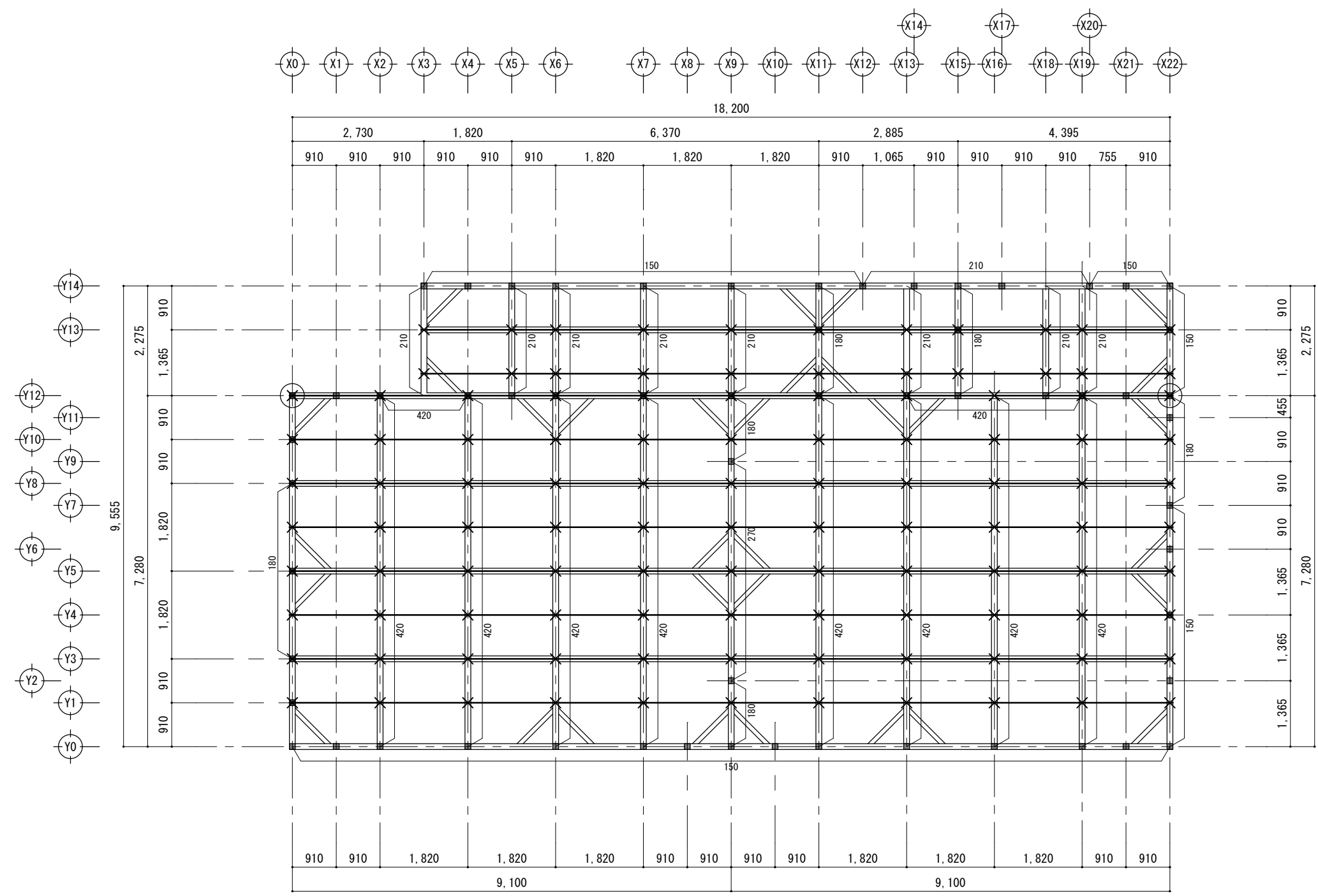
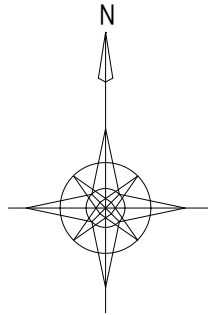


土台・床伏図 1/100

部位	寸法	備考
土台	120×120	米桐(防腐注入土台)
大引	90×90	米松
根太	45×45	米松
柱	120×120	赤松集成材
筋かい	45×105	米松

地盤面から高さ1m以下の構造材は、防腐・防蟻処理を行う

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図 名	縮 尺	備 考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	土台・床伏図	1/100		S - 0 3

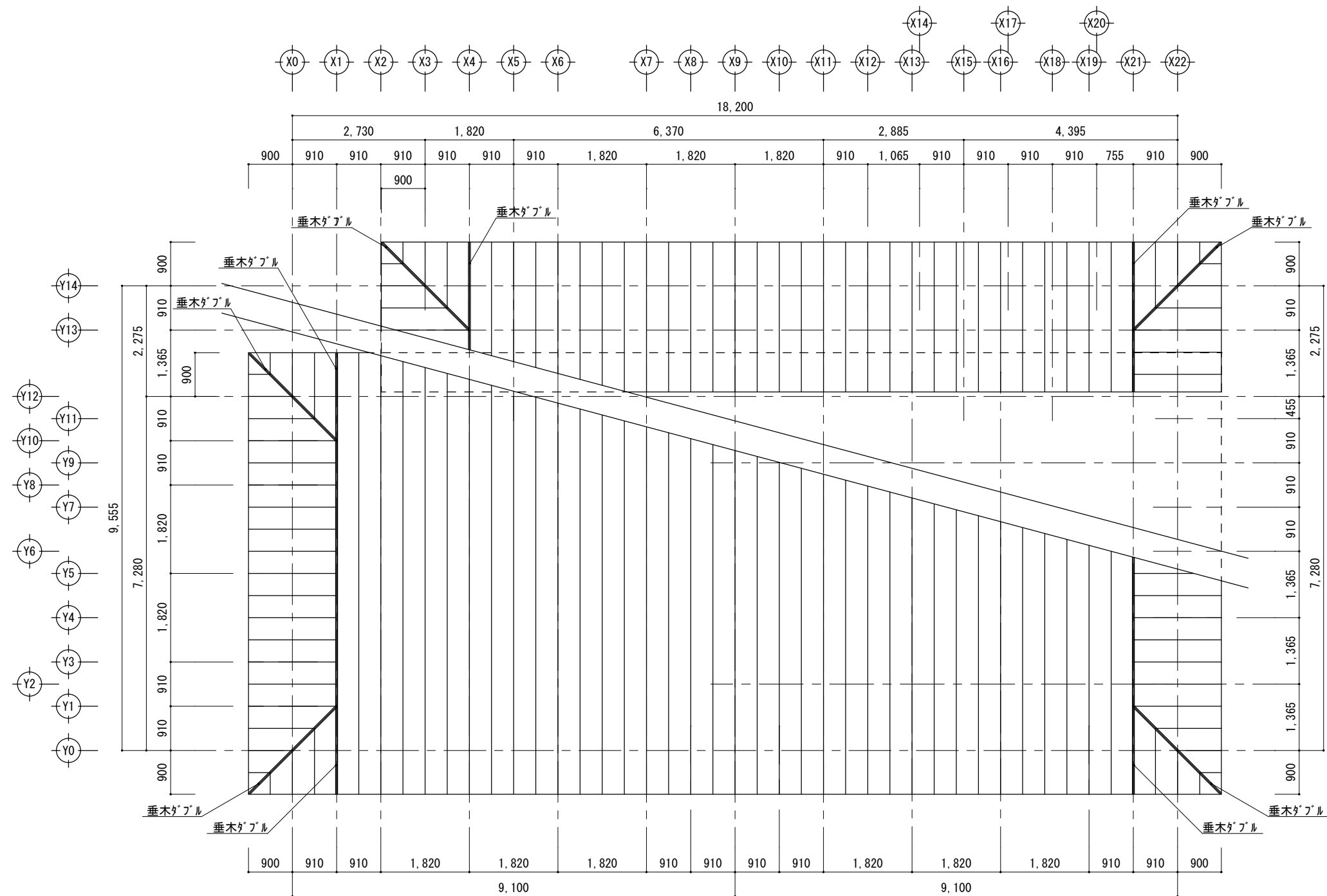
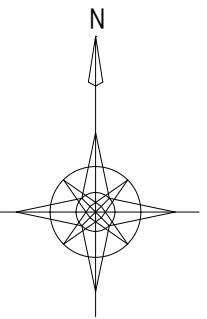


小屋伏図 1/100

■ 母屋まで通し柱とする。

※特記のない梁、桁の寸法は120×120とする。

部材寸法		
部位	寸法	備考
梁、桁	120×120	米松
梁、桁	120×150	米松
梁、桁	120×180	米松
梁、桁	120×210	米松
梁、桁	120×270	米松
梁	120×420	RW集成材 E105-F300
火打梁	—	銅製
小屋束	90×90	米松
小屋束	120×120	米松 ※Y12通りのみ
母屋	90×90	米松
母屋	120×120	米松 ※Y12通りのみ



垂木伏図 1/100

部材寸法

部位	寸法	備考
垂木	45×75	米松



太田市建築住宅課

履行名称

旭小こどもプラッツ新築工事

作図年月日

2026.8

図名

垂木伏図

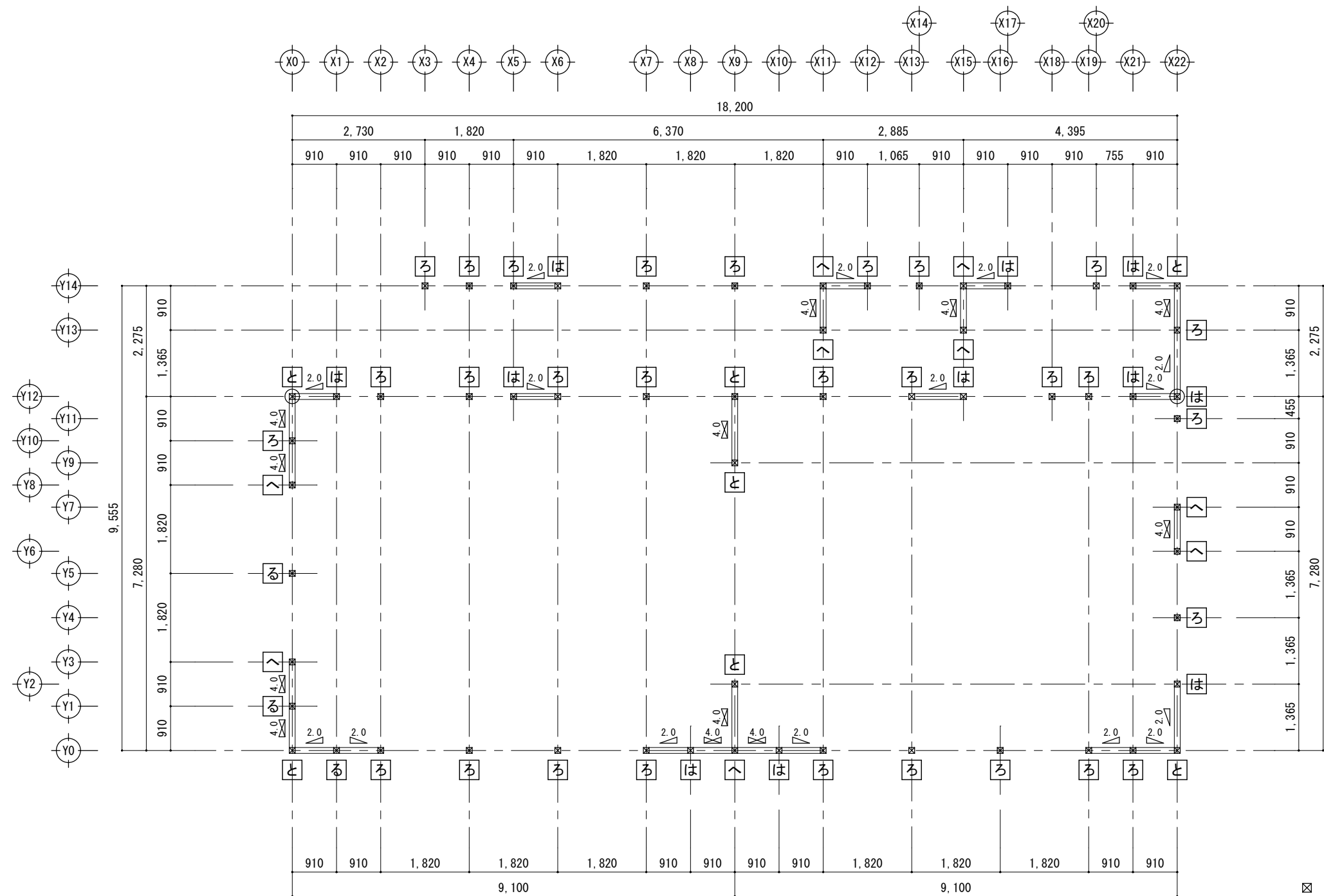
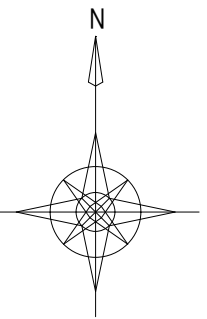
縮尺

1/100

備考

図面番号

S-05



筋かい・接合金物位置図 1/100

- ⊠ : 柱 120角
- ⊙ : 通し柱 120角
- 柱脚 $\frac{2.0}{}$ 柱頭 $\frac{2.0}{}$: 筋かい 45×105 シングル [壁倍率2.0]
- $\frac{4.0}{}$: 筋かい 45×105 ダブル [壁倍率4.0]

 太田市建築住宅課	履行名称	作図年月日	図名	縮尺	備考	図面番号
	旭小こどもプラッツ新築工事	2026.8	筋かい・接合金物位置図	1/100		S-06